

マイナビ 2024年度キャリア・就職支援への取り組み調査

内容	大学等のキャリア・就職支援の実態に関する調査
実施期間	2024年6月17日～2024年7月16日
調査対象	全国の大学就職支援担当部署・窓口
調査方法	調査票を大学にメールにて配布。WEB上のアンケートフォームより回収

回答属性データ

カテゴリー	国公立	私立	全体
学校別回答数	115	362	477
キャンパス別の回答数	37	150	187
総計	152	512	664

キャンパス別とは・・・同じ大学でも就職窓口が個別に存在し、独自の支援を行っているケースがあるため、各1回答として集計した。

学校所在地	国公立	私立	全体
北海道	15	22	37
東北	18	30	48
関東	24	205	229
甲信越	11	22	33
北陸	11	11	22
東海	15	54	69
関西	18	98	116
中国	14	26	40
四国	6	6	12
九州・沖縄	20	38	58
総計	152	512	664

資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。
株式会社マイナビ 社長室 キャリアリサーチ統括部 E-mail: myrm@mynavi.jp

設問

(1)キャリア・就職ガイダンスについて	<ul style="list-style-type: none"> ・延べ参加人数の増減【前期・夏休み明け～年末・年明け・全期間】 ・延べ参加人数の増減推移(経年) ・開催回数増減推移(経年) ・キャリア・就職ガイダンスの開始時期(学部1年生、学部2年生、学部3年生、修士1年生) ・キャリア・就職ガイダンスの動員対策で実施しているもの ・動員対策で効果が高かった施策 	P.03
(2)採用広報を目的としない企業を招いてのインターンシップ等・業界研究セミナーについて	<ul style="list-style-type: none"> ・採用広報を目的としない業界研究セミナーの実施の有無 ・延べ参加人数の増減 ・開催時期 	P.06
(3)採用広報を目的とした学内企業説明会について	<ul style="list-style-type: none"> ・採用広報を目的とした学内企業説明会実施の有無 ・延べ参加人数の増減 ・延べ参加企業数の増減 ・開始時期、終了時期 	P.07
(4)低学年次からのキャリア教育やインターンシップについて	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育(正課)の実施の有無 ・開始時期 ・取り組んでいる内容 ・1学年の在籍人数を母数としたときの履修者の割合 ・キャリア教育(正課)についての関わり、取組内容 ・キャリア教育(正課・正課外問わず)の中で条件が整えば取り組みたい内容 ・低学年(学部1・2年生)向けのアセスメントツール実施の有無 ・単位認定型インターンシップの実施(2025年卒、2026年卒予定) ・三省合意を受け、どの対象にどの4類型のタイプを推奨しているか 	P.08
(5)大学で行っている就職支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・人事担当者がキャリアセンターに求人(票)を【直接持参】【WEB提出】した企業数の増減 ・学校から企業に求人(票送付)の依頼を開始する時期(WEB受付含む) ・【理系】学校推薦状発行開始時期 ・キャリア・就職ガイダンス、インターンシップ等・業界研究セミナー、学内企業説明会、学生相談のWEBと対面の比率 ・2025年卒学生の内定率(2024年卒との比較) ・データサイエンス関連で実施しているもの ・対話形式で生成系AIが質問に答えるサービス、学生が就職活動に利用することに申し伝えていること ・キャリアセンターへの負荷(2024年卒との比較) ・現状負荷がかかっており、負荷を解消すべき業務 ・キャリアセンターのミッションでこれから最も力を入れたいテーマ ・ミッションを目指すうえで注力している施策、最も注力している施策、具体的内容 ・キャリア支援・就職支援に関して、特に知りたいとおもっ情報 	P.11
(6)新卒紹介について	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の状況 ・案内開始希望月 	P.14
(7)特定の学生に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人留学生(実施プログラム、課題) ・日本人留学生(実施プログラム、課題) ・障がいがある学生(就職支援の実施、実施プログラム、課題) 	P.15
(8)特別支援(高校・保護者)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学全体で高校と連携して行っていること ・入学前教育で取り組まれている内容(予定含む) ・保護者に対して取り組まれている内容 ・保護者向けガイダンスで実施している内容 	P.19
補足資料		
(9)自由記述	<ul style="list-style-type: none"> ・学校主催で行うキャリア・就職ガイダンス増減の理由 ・キャリアセンターの負荷増減の理由 ・低学年学生へのキャリア支援に関する課題 ・就職活動生への就職支援に関する課題 ・これからの就職支援についてのご意見 	P.20

(1) キャリア・就職ガイダンスについて

キャリア・就職ガイダンスは総合ガイダンスから少人数の講座までを含みます。

2025年卒学生向けキャリア・就職ガイダンスの延べ参加人数を期間別にみると【前期（2023年3月～8月）】では「前年度並み」が57.8%と最多ではあるものの、「増加」は17.2%（前年比0.9pt減）と増えたとする回答割合は減った。「減少」が25.0%（前年比2.5pt増）と減ったとする割合は増えたことから、参加人数は引き続き減少傾向となった。続いて、【夏休み明け～年末（2023年9月～12月）】は「増加」の回答は12.0%（前年比0.4pt減）と減った。「減少」の回答は31.6%（前年比4.2pt増）と増えている。【年明け（2023年1月～）】は「増加」の回答が12.8%（前年比2.7pt減）、「減少」の回答は29.8%（前年比0.2pt減）と共に減っており、「前年度並み」が57.4%（前年比2.9pt増）となり、3期間の中では比較的減少傾向が少ない期間となった。全期間における延べ参加人数を見ると、最多は「前年度並み」は53.8%（前年比1.2pt増）。「増加」の回答は14.6%（前年比3.6pt減）と減少。かつ直近5年の中では最も数値が低い。「減少」の回答は31.6%（前年比2.5pt増）となった。

すべての期間において、「前年度並み」が最多回答ではあるが、全体としては24年卒に引き続き「減少傾向」である。その理由を大学のコメントに求めると、新型コロナウイルスの影響減による学生の活動（アルバイトや部活）の活発化、売り手市場の報道等の影響で学生が安心感を持った（危機感低下）、ガイダンス以外の情報源の多様化、大学の就職支援に頼らない学生の増加、と様々な理由があがった。

2025年卒学生のキャリア・就職ガイダンス 延べ参加人数の増減

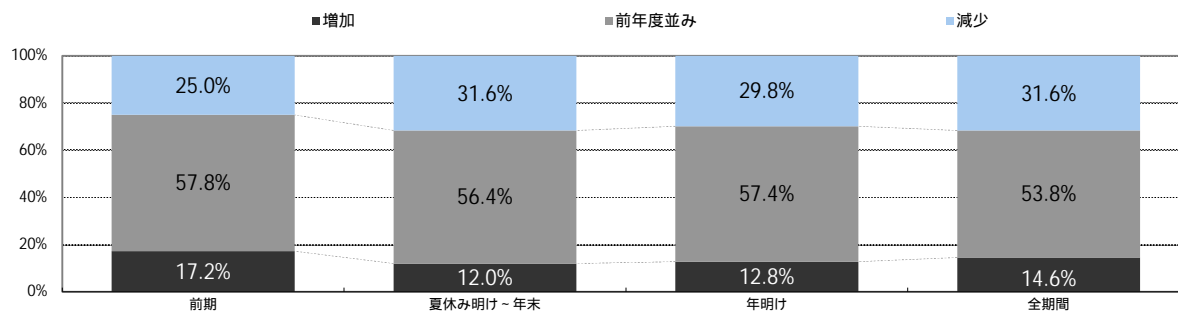
【前期（2023年3月～8月）】	全体 (n=640)	国公立 (n=141)	私立 (n=499)	北海道・東北 (n=80)	関東 (n=223)	甲信越・北陸 (n=51)	東海(n=67)	関西 (n=111)	中国・四国 (n=52)	九州・沖縄 (n=56)	参考:前年調査
増加	17.2%	28.4%	14.0%	15.0%	16.6%	15.7%	17.9%	18.9%	13.5%	23.2%	18.1%
前年度並み	57.8%	45.4%	61.3%	62.5%	55.2%	70.6%	59.7%	49.5%	65.4%	57.1%	59.3%
減少	25.0%	26.2%	24.6%	22.5%	28.3%	13.7%	22.4%	31.5%	21.2%	19.6%	22.5%

【夏休み明け～年末（2023年9月～12月）】	全体 (n=640)	国公立 (n=139)	私立 (n=501)	北海道・東北 (n=83)	関東 (n=223)	甲信越・北陸 (n=50)	東海(n=67)	関西 (n=110)	中国・四国 (n=51)	九州・沖縄 (n=56)	参考:前年調査
増加	12.0%	17.3%	10.6%	9.6%	14.8%	12.0%	9.0%	12.7%	7.8%	10.7%	12.4%
前年度並み	56.4%	51.8%	57.7%	62.7%	51.1%	68.0%	59.7%	47.3%	60.8%	67.9%	60.2%
減少	31.6%	30.9%	31.7%	27.7%	34.1%	20.0%	31.3%	40.0%	31.4%	21.4%	27.4%

【年明け（2024年1月～）】	全体 (n=624)	国公立 (n=137)	私立 (n=487)	北海道・東北 (n=82)	関東 (n=219)	甲信越・北陸 (n=48)	東海(n=67)	関西 (n=104)	中国・四国 (n=49)	九州・沖縄 (n=56)	参考:前年調査
増加	12.8%	10.9%	13.3%	12.2%	14.2%	8.3%	6.0%	13.5%	18.4%	14.5%	15.5%
前年度並み	57.4%	55.5%	57.9%	61.0%	54.3%	79.2%	50.7%	50.0%	63.3%	61.8%	54.5%
減少	29.8%	33.6%	28.7%	26.8%	31.5%	12.5%	43.3%	36.5%	18.4%	23.6%	30.0%

【全期間（上記の全期間）】	全体 (n=637)	国公立 (n=140)	私立 (n=497)	北海道・東北 (n=82)	関東 (n=221)	甲信越・北陸 (n=50)	東海(n=67)	関西 (n=110)	中国・四国 (n=51)	九州・沖縄 (n=56)	参考:前年調査
増加	14.6%	20.7%	12.9%	17.1%	14.9%	16.0%	11.9%	13.6%	13.7%	14.3%	18.2%
前年度並み	53.8%	47.9%	55.5%	61.0%	50.7%	60.0%	53.7%	42.7%	64.7%	62.5%	52.6%
減少	31.6%	31.4%	31.6%	22.0%	34.4%	24.0%	34.3%	43.6%	21.6%	23.2%	29.1%

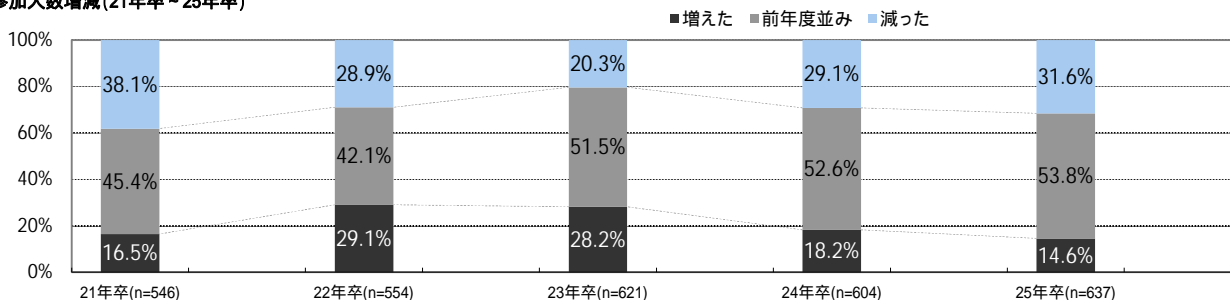
学生の延べ参加人数の増減【開催時期別】(全体)



延べ参加人数の増減(21年卒～25年卒)

	21年卒(n=546)	22年卒(n=554)	23年卒(n=621)	24年卒(n=604)	25年卒(n=637)
増えた	16.5%	29.1%	28.2%	18.2%	14.6%
前年度並み	45.4%	42.1%	51.5%	52.6%	53.8%
減った	38.1%	28.9%	20.3%	29.1%	31.6%

延べ参加人数増減(21年卒～25年卒)



キャリア・就職ガイダスの開催回数についてみると、「増えた」が17.1%（前年比1.1pt減）、「減った」が12.7%（前年比4.2pt増）と減少傾向となった。キャリア・就職ガイダスの実施有無と開始する時期を学年別で聞いたところ、実施していないとの回答は【学部1年生】が41.2%、【学部2年生】が22.7%、【学部3年生・修士1年生】が1.0%という結果となった。開始時期に関しては全学年とも4月が最多となった。

2025年卒学生向けキャリア・就職ガイダス開催回数の増減

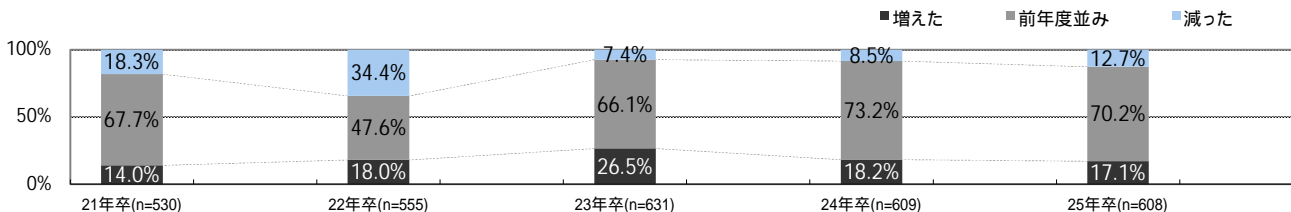
オンデマンド型配信は除く

	全体 (n=608)	国公立 (n=136)	私立 (n=472)	北海道・東 北(n=74)	関東 (n=212)	甲信越・北 陸(n=50)	東海(n=63)	関西 (n=104)	中国・四国 (n=51)	九州・沖縄 (n=54)	参考:前年 調査
増えた	17.1%	16.9%	17.2%	20.3%	17.9%	20.0%	23.8%	11.5%	11.8%	14.8%	18.2%
前年度並み	70.2%	69.1%	70.6%	70.3%	67.5%	74.0%	61.9%	75.0%	76.5%	72.2%	73.2%
減った	12.7%	14.0%	12.3%	9.5%	14.6%	6.0%	14.3%	13.5%	11.8%	13.0%	8.5%

キャリア・就職ガイダス開催回数の増減推移(2021年卒～25年卒)

	21年卒(n=530)	22年卒(n=555)	23年卒(n=631)	24年卒(n=609)	25年卒(n=608)
増えた	14.0%	18.0%	26.5%	18.2%	17.1%
前年度並み	67.7%	47.6%	66.1%	73.2%	70.2%
減った	18.3%	34.4%	7.4%	8.5%	12.7%

キャリア・就職ガイダス開催回数増減(2021年卒～25年卒)



キャリア・就職ガイダスを開始する時期(予定を含む)

【学部1年生】

	全体 (n=578)	国公立 (n=129)	私立 (n=449)	北海道・東 北(n=73)	関東 (n=205)	甲信越・北 陸(n=50)	東海(n=57)	関西(n=93)	中国・四国 (n=48)	九州・沖縄 (n=52)
2024年4月	26.5%	19.4%	28.5%	20.5%	34.6%	30.0%	28.1%	17.2%	10.4%	28.8%
2024年5月	9.7%	17.8%	7.3%	12.3%	9.3%	-	5.3%	12.9%	10.4%	15.4%
2024年6月	4.5%	4.7%	4.5%	4.1%	5.9%	4.0%	1.8%	1.1%	10.4%	3.8%
2024年7月	3.5%	3.1%	3.6%	2.7%	1.5%	6.0%	5.3%	8.6%	2.1%	-
2024年8月	0.9%	-	1.1%	-	2.0%	2.0%	-	-	-	-
2024年9月	3.5%	0.8%	4.2%	5.5%	3.4%	2.0%	3.5%	1.1%	4.2%	5.8%
2024年10月	4.3%	7.8%	3.3%	8.2%	2.0%	6.0%	10.5%	-	6.3%	5.8%
2024年11月	1.7%	1.6%	1.8%	4.1%	1.5%	-	3.5%	2.2%	-	-
2024年12月	1.0%	2.3%	0.7%	-	1.5%	2.0%	-	1.1%	2.1%	-
2025年1月	2.2%	1.6%	2.4%	1.4%	1.5%	2.0%	-	5.4%	2.1%	3.8%
2025年2月	0.7%	0.8%	0.7%	-	1.0%	2.0%	-	1.1%	-	-
2025年3月	0.3%	-	0.4%	-	0.5%	2.0%	-	-	-	-
この対象には実施していない	41.2%	40.3%	41.4%	41.1%	35.6%	42.0%	42.1%	49.5%	52.1%	36.5%

【学部2年生】

	全体 (n=598)	国公立 (n=127)	私立 (n=471)	北海道・東 北(n=77)	関東 (n=212)	甲信越・北 陸(n=49)	東海(n=60)	関西(n=100)	中国・四国 (n=49)	九州・沖縄 (n=51)
2024年4月	28.6%	21.3%	30.6%	29.9%	32.5%	38.8%	30.0%	18.0%	24.5%	23.5%
2024年5月	9.0%	15.7%	7.2%	13.0%	9.4%	2.0%	6.7%	9.0%	10.2%	9.8%
2024年6月	6.7%	5.5%	7.0%	2.6%	7.1%	8.2%	6.7%	8.0%	6.1%	7.8%
2024年7月	4.2%	3.9%	4.2%	3.9%	2.4%	4.1%	3.3%	9.0%	4.1%	3.9%
2024年8月	1.3%	0.8%	1.5%	-	2.4%	2.0%	-	2.0%	-	-
2024年9月	4.2%	1.6%	4.9%	6.5%	4.7%	-	1.7%	4.0%	4.1%	5.9%
2024年10月	4.2%	5.5%	3.8%	7.8%	1.9%	2.0%	10.0%	4.0%	2.0%	5.9%
2024年11月	3.0%	3.9%	2.8%	6.5%	2.4%	6.1%	3.3%	3.0%	-	-
2024年12月	3.8%	7.1%	3.0%	1.3%	4.2%	4.1%	6.7%	3.0%	4.1%	3.9%
2025年1月	3.5%	3.1%	3.6%	2.6%	1.9%	2.0%	3.3%	4.0%	6.1%	9.8%
2025年2月	5.2%	4.7%	5.3%	2.6%	5.7%	4.1%	8.3%	7.0%	4.1%	2.0%
2025年3月	3.5%	3.1%	3.6%	2.6%	3.8%	6.1%	3.3%	3.0%	6.1%	-
この対象には実施していない	22.7%	23.6%	22.5%	20.8%	21.7%	20.4%	16.7%	26.0%	28.6%	27.5%

【学部3年生・修士1年生】

	全体 (n=624)	国公立 (n=138)	私立 (n=486)	北海道・東 北(n=78)	関東 (n=219)	甲信越・北 陸(n=51)	東海(n=65)	関西(n=106)	中国・四国 (n=51)	九州・沖縄 (n=54)
2024年4月	77.7%	73.9%	78.8%	70.5%	80.4%	80.4%	75.4%	78.3%	80.4%	74.1%
2024年5月	9.3%	9.4%	9.3%	12.8%	7.3%	3.9%	7.7%	12.3%	5.9%	16.7%
2024年6月	3.2%	4.3%	2.9%	3.8%	2.7%	3.9%	4.6%	2.8%	5.9%	-
2024年7月	0.3%	0.7%	0.2%	2.6%	-	-	-	-	-	-
2024年8月	0.5%	-	0.6%	-	1.4%	-	-	-	-	-
2024年9月	1.6%	2.2%	1.4%	1.3%	1.8%	3.9%	3.1%	0.9%	-	-
2024年10月	2.4%	4.3%	1.9%	5.1%	1.4%	3.9%	1.5%	2.8%	-	3.7%
2024年11月	1.0%	0.7%	1.0%	-	0.9%	2.0%	1.5%	-	2.0%	1.9%
2024年12月	0.2%	0.7%	-	1.3%	-	-	-	-	-	-
2025年1月	0.6%	1.4%	0.4%	-	1.4%	-	-	-	2.0%	-
2025年2月	1.6%	0.7%	1.9%	1.3%	0.9%	-	3.1%	2.8%	-	3.7%
2025年3月	0.6%	-	0.8%	-	0.9%	2.0%	-	-	2.0%	-
この対象には実施していない	1.0%	1.4%	0.8%	1.3%	0.9%	-	3.1%	-	2.0%	-

就職ガイダンスの動員対策の実施を聞いたところ、実施比率が特に高かったのは「学内ポータル掲示(84.9%)」、「メール配信(80.3%)」、「紙チラシの学内掲示や設置(79.2%)」、「教員への情報共有(77.0%)」の4つであった。比率を伸ばしたのは、「紙チラシの学生配布(7.6pt増)」、「告知文面や表現の見直し(4.5pt増)」、「ガイダンス内容の具体化(4.4pt増)」、「教員への情報共有(4.3pt増)」であった。
効果の高い動員対策(3つまで選択)は、「メール配信(42.5%)」が昨年2位から今回1位となった。僅差で2位は「教員への情報共有(41.0%)」、3位は「学内ポータル掲示(38.6%)」となった。特に3位の「学内ポータル掲示」は対前年8.4pt増となった。動員対策の事例として是非参考にさせていただきたい。

キャリア・就職ガイダンスの動員対策で実施しているもの(複数回答)

	全体 (n=649)	国公立 (n=148)	私立 (n=501)	北海道・東 北(n=84)	関東 (n=225)	甲信越・北 陸(n=54)	東海(n=67)	関西 (n=111)	中国・四国 (n=52)	九州・沖縄 (n=56)	参考:前年 調査
学内ポータル掲示	84.9%	79.1%	86.6%	77.4%	89.3%	77.8%	85.1%	82.9%	82.7%	91.1%	85.8%
メール配信	80.3%	77.7%	81.0%	77.4%	81.3%	79.6%	86.6%	76.6%	82.7%	78.6%	80.3%
紙チラシの学内掲示や設置	79.2%	85.1%	77.4%	72.6%	78.7%	75.9%	76.1%	85.6%	78.8%	85.7%	76.4%
教員への情報共有	77.0%	72.3%	78.4%	76.2%	73.3%	72.2%	82.1%	78.4%	82.7%	83.9%	72.7%
ガイダンス内容の具体化	41.9%	37.8%	43.1%	36.9%	41.8%	48.1%	38.8%	44.1%	44.2%	41.1%	37.5%
紙チラシの学生配布	39.4%	34.5%	40.9%	31.0%	37.8%	35.2%	40.3%	47.7%	36.5%	48.2%	31.8%
告知文面や表現の見直し	35.4%	35.1%	35.5%	22.6%	39.6%	33.3%	38.8%	37.8%	38.5%	28.6%	30.9%
対象学生の明確化	34.5%	35.8%	34.1%	34.5%	36.4%	25.9%	31.3%	35.1%	38.5%	33.9%	30.7%
告知はがき郵送	33.3%	22.3%	36.5%	23.8%	40.4%	9.3%	35.8%	40.5%	26.9%	30.4%	31.0%
SNS配信	27.9%	28.4%	27.7%	16.7%	29.3%	20.4%	31.3%	37.8%	19.2%	30.4%	29.1%
予約数の進捗確認や共有	26.0%	30.4%	24.8%	21.4%	29.3%	14.8%	20.9%	26.1%	28.8%	33.9%	24.6%
アクセスのよい参加場所や参加形態の用意	20.3%	22.3%	19.8%	10.7%	26.2%	16.7%	20.9%	18.0%	21.2%	17.9%	18.7%
「マイナビ学生集め〜る」など学外メッセージ配信サービス	18.3%	17.6%	18.6%	13.1%	20.4%	14.8%	22.4%	19.8%	17.3%	14.3%	17.4%
告知ツールや媒体の見直し	18.0%	20.9%	17.2%	20.2%	20.4%	5.6%	19.4%	17.1%	19.2%	16.1%	14.2%
ガイダンス回数増	14.2%	13.5%	14.4%	11.9%	17.3%	9.3%	11.9%	13.5%	11.5%	16.1%	13.2%
告知場所の見直し	9.9%	9.5%	10.0%	8.3%	11.1%	1.9%	13.4%	9.9%	7.7%	12.5%	6.0%
その他	8.5%	7.4%	8.8%	4.8%	9.3%	9.3%	7.5%	10.8%	11.5%	3.6%	7.6%

動員対策で効果が高かった施策(複数回答・最大3つ)

	全体 (n=637)	国公立 (n=144)	私立 (n=493)	北海道・東 北(n=82)	関東 (n=221)	甲信越・北 陸(n=51)	東海(n=67)	関西 (n=109)	中国・四国 (n=51)	九州・沖縄 (n=56)	参考:前年 調査
メール配信	42.5%	54.2%	39.1%	37.8%	42.1%	51.0%	47.8%	34.9%	43.1%	51.8%	39.8%
教員への情報共有	41.0%	29.2%	44.4%	48.8%	37.6%	29.4%	40.3%	43.1%	41.2%	50.0%	40.8%
学内ポータル掲示	38.6%	40.3%	38.1%	39.0%	40.7%	41.2%	38.8%	31.2%	39.2%	41.1%	30.2%
告知はがき郵送	17.1%	9.7%	19.3%	11.0%	21.7%	3.9%	13.4%	22.0%	17.6%	14.3%	17.9%
紙チラシの学内掲示や設置	15.9%	21.5%	14.2%	14.6%	15.8%	21.6%	10.4%	13.8%	15.7%	23.2%	14.4%
SNS配信	10.4%	8.3%	11.0%	6.1%	11.8%	5.9%	7.5%	10.1%	11.8%	17.9%	11.5%
ガイダンス内容の具体化	9.1%	10.4%	8.7%	13.4%	7.2%	11.8%	10.4%	7.3%	11.8%	7.1%	9.7%
告知文面や表現の見直し	7.5%	6.3%	7.9%	8.5%	11.8%	11.8%	3.0%	3.7%	2.0%	3.6%	6.7%
紙チラシの学生配布	7.1%	4.2%	7.9%	7.3%	5.0%	5.9%	10.4%	11.0%	2.0%	8.9%	5.6%
対象学生の明確化	4.6%	3.5%	4.9%	6.1%	5.0%	-	7.5%	5.5%	2.0%	1.8%	7.2%
アクセスのよい参加場所や参加形態の用意	4.2%	2.8%	4.7%	2.4%	5.9%	3.9%	4.5%	2.8%	5.9%	1.8%	5.1%
ガイダンス回数増	3.0%	2.8%	3.0%	3.7%	2.7%	3.9%	-	5.5%	-	3.6%	1.8%
予約数の進捗確認や共有	2.7%	3.5%	2.4%	3.7%	2.7%	-	3.0%	3.7%	-	3.6%	2.3%
告知ツールや媒体の見直し	2.5%	5.6%	1.6%	3.7%	1.8%	3.9%	4.5%	2.8%	2.0%	-	2.3%
「マイナビ学生集め〜る」など学外メッセージ配信サービス	0.9%	0.7%	1.0%	-	1.4%	2.0%	1.5%	0.9%	-	-	1.3%
告知場所の見直し	0.9%	1.4%	0.8%	2.4%	0.9%	2.0%	-	0.9%	-	-	1.5%
その他	11.3%	9.7%	11.8%	6.1%	9.0%	9.8%	13.4%	18.3%	21.6%	3.6%	9.7%
効果が高かったものはなかった	5.5%	4.9%	5.7%	4.9%	4.5%	5.9%	4.5%	5.5%	9.8%	7.1%	8.5%

その他の回答	エリア	学校区分	内容
	関西	私立	学内放送
	関東	私立	授業内での告知
	関東	私立	職員から学生へ直接声掛けをする
	関東	私立	保護者等への周知
中国・四国	公立	Teamsでの告知	

(2) 2025年卒向けの採用広報を目的としない企業を招いてのインターンシップ等・業界研究セミナーについて

2025年卒学生への採用広報を目的としない業界研究セミナーは、「実施している」が66.6%と約2/3の大学で実施されていた。延べ参加人数は「増加」の回答が30.3%（前年比12.3pt増）と大幅に増加した。「減少」の回答は21.4%（前年比10.8pt減）と減少しており延べ参加人数は増加傾向となった。企業の採用意欲の高さや、2022年6月の「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」（三省合意）が改正され、インターンシップ等がより一層活性化されたことが影響していると思われる。

また、インターンシップ等・業界研究セミナー開催時期【学部3年生・修士1年生】は長期休暇、夏休み前の2023年5月（34.3%）、6月（37.1%）、冬休み前の11月（37.4%）、12月（31.7%）が高かった。また就職活動広報解禁となる3月の直前となる2024年2月も31.4%と高い割合となった。

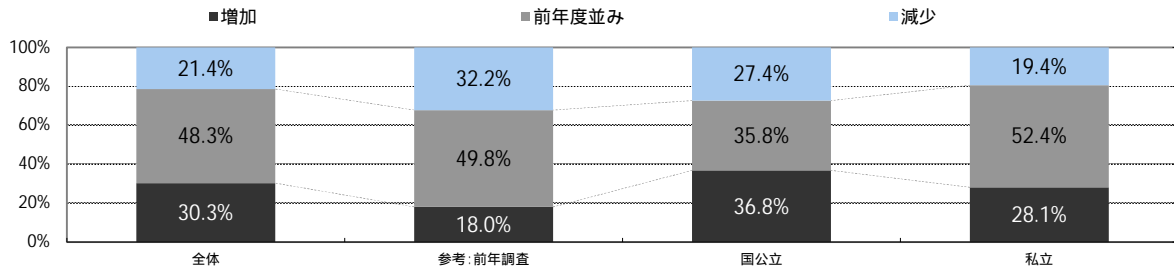
採用広報を目的としないインターンシップ等・業界研究セミナーの実施

	全体 (n=664)	国公立 (n=152)	私立 (n=512)	北海道・東北 (n=85)	関東 (n=229)	甲信越・北陸 (n=55)	東海(n=69)	関西 (n=116)	中国・四国 (n=52)	九州・沖縄 (n=58)	参考:前年調査
実施している	66.6%	74.3%	64.3%	60.0%	69.0%	72.7%	62.3%	60.3%	78.8%	67.2%	69.2%
実施していない	33.4%	25.7%	35.7%	40.0%	31.0%	27.3%	37.7%	39.7%	21.2%	32.8%	30.8%

2025年卒学生の延べ参加人数は2024年卒と比較して

	全体 (n=383)	国公立 (n=95)	私立 (n=288)	北海道・東北 (n=45)	関東 (n=137)	甲信越・北陸 (n=32)	東海(n=37)	関西(n=63)	中国・四国 (n=35)	九州・沖縄 (n=34)	参考:前年調査
増加	30.3%	36.8%	28.1%	22.2%	35.0%	21.9%	32.4%	30.2%	31.4%	26.5%	18.0%
前年度並み	48.3%	35.8%	52.4%	46.7%	44.5%	59.4%	48.6%	49.2%	42.9%	58.8%	49.8%
減少	21.4%	27.4%	19.4%	31.1%	20.4%	18.8%	18.9%	20.6%	25.7%	14.7%	32.2%

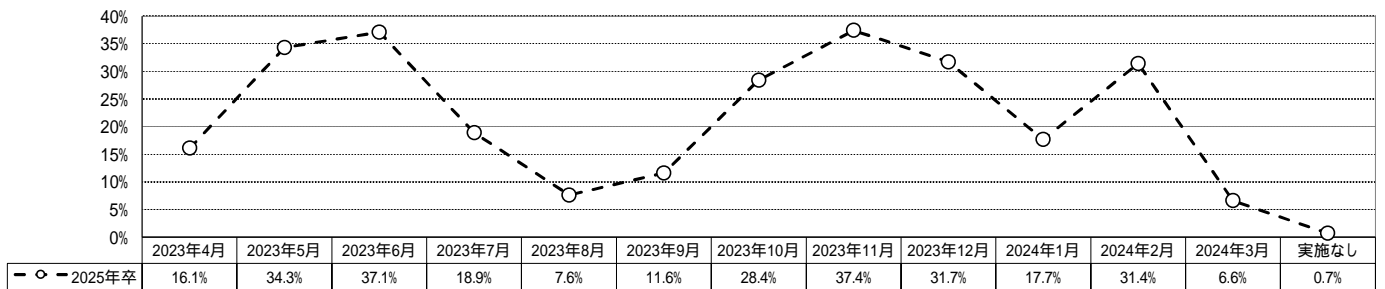
インターンシップ等・業界研究セミナー参加人数 前年と比較して



2025年卒向け インターンシップ等・業界研究セミナー開催時期【学部3年生・修士1年生】（複数回答）

	全体 (n=423)	国公立 (n=104)	私立 (n=319)	北海道・東北 (n=49)	関東 (n=155)	甲信越・北陸 (n=37)	東海(n=41)	関西(n=65)	中国・四国 (n=40)	九州・沖縄 (n=36)
2023年4月	16.1%	21.2%	14.4%	20.4%	17.4%	18.9%	9.8%	15.4%	15.0%	11.1%
2023年5月	34.3%	39.4%	32.6%	28.6%	36.1%	37.8%	39.0%	33.8%	32.5%	27.8%
2023年6月	37.1%	36.5%	37.3%	26.5%	36.8%	45.9%	36.6%	35.4%	35.0%	50.0%
2023年7月	18.9%	18.3%	19.1%	26.5%	14.8%	24.3%	17.1%	12.3%	30.0%	22.2%
2023年8月	7.6%	6.7%	7.8%	18.4%	7.1%	8.1%	4.9%	4.6%	5.0%	5.6%
2023年9月	11.6%	10.6%	11.9%	14.3%	12.9%	8.1%	7.3%	12.3%	12.5%	8.3%
2023年10月	28.4%	31.7%	27.3%	22.4%	27.7%	24.3%	19.5%	35.4%	30.0%	38.9%
2023年11月	37.4%	43.3%	35.4%	32.7%	34.2%	35.1%	46.3%	46.2%	35.0%	36.1%
2023年12月	31.7%	48.1%	26.3%	44.9%	27.7%	27.0%	24.4%	29.2%	40.0%	38.9%
2024年1月	17.7%	26.0%	15.0%	20.4%	18.1%	10.8%	7.3%	13.8%	32.5%	22.2%
2024年2月	31.4%	32.7%	31.0%	36.7%	29.7%	24.3%	19.5%	36.9%	35.0%	38.9%
2024年3月	6.6%	7.7%	6.3%	8.2%	4.5%	8.1%	7.3%	9.2%	7.5%	5.6%
この対象には実施していない	0.7%	-	0.9%	-	1.9%	-	-	-	-	-

2025年卒向け インターンシップ等・業界研究セミナー開催時期



(3) 採用広報を目的とした学内企業説明会について (WEB含む)

採用広報を目的とした学内企業説明会は、「実施した(予定含む)」が81.9%と高水準を保っている。延べ参加人数は「増えた」が22.5%(前年比2.8pt増)、「減った」は31.4%(前年比5.0pt減)となり、増加傾向となった。延べ参加企業数は「増えた」の回答が25.4%(前年比2.3pt減)と微減。「減った」の回答は19.3%(前年比2.1pt増)と微増とはなったものの、「減った」より「増えた」が上回っており、企業側の採用意欲の高さが伺える。

学内企業説明会開始時期は、「2月」が30.4%(前年比0.9pt増)となり、1位となった。「1月以前」も17.3%(前年比0.4pt増)と微増しており、前倒し傾向が見られた。また「2月」開始の比率が高いのは「関東(31.0%)」、「東海(40.0%)」、「関西(44.0%)」となり、エリアによる差もあることがわかった。

2025年卒学生向けの採用広報を目的とした学内企業説明会の実施について

	全体 (n=664)	国公立 (n=152)	私立 (n=512)	北海道・東北 (n=85)	関東 (n=229)	甲信越・北陸 (n=55)	東海(n=69)	関西 (n=116)	中国・四国 (n=52)	九州・沖縄 (n=58)	参考:前年 調査
実施した(予定含む)	81.9%	78.9%	82.8%	87.1%	83.8%	70.9%	81.2%	76.7%	82.7%	87.9%	83.0%
実施していない	18.1%	21.1%	17.2%	12.9%	16.2%	29.1%	18.8%	23.3%	17.3%	12.1%	17.0%

2025年卒学生の延べ参加人数は2024年卒と比較して

	全体 (n=503)	国公立 (n=105)	私立 (n=398)	北海道・東北 (n=70)	関東 (n=178)	甲信越・北陸 (n=33)	東海(n=52)	関西(n=83)	中国・四国 (n=41)	九州・沖縄 (n=46)	参考:前年 調査
増えた	22.5%	22.9%	22.4%	22.9%	26.4%	15.2%	25.0%	21.7%	12.2%	19.6%	19.7%
前年度並み	46.1%	41.0%	47.5%	41.4%	39.3%	60.6%	50.0%	43.4%	63.4%	54.3%	43.9%
減った	31.4%	36.2%	30.2%	35.7%	34.3%	24.2%	25.0%	34.9%	24.4%	26.1%	36.4%

2025年卒学生の延べ参加企業数は2024年卒と比較して

	全体 (n=507)	国公立 (n=103)	私立 (n=404)	北海道・東北 (n=67)	関東 (n=178)	甲信越・北陸 (n=33)	東海(n=55)	関西(n=83)	中国・四国 (n=42)	九州・沖縄 (n=49)	参考:前年 調査
増えた	25.4%	28.2%	24.8%	29.9%	21.9%	39.4%	32.7%	22.9%	23.8%	20.4%	27.7%
前年度並み	55.2%	51.5%	56.2%	53.7%	54.5%	54.5%	52.7%	53.0%	61.9%	61.2%	55.1%
減った	19.3%	20.4%	19.1%	16.4%	23.6%	6.1%	14.5%	24.1%	14.3%	18.4%	17.2%

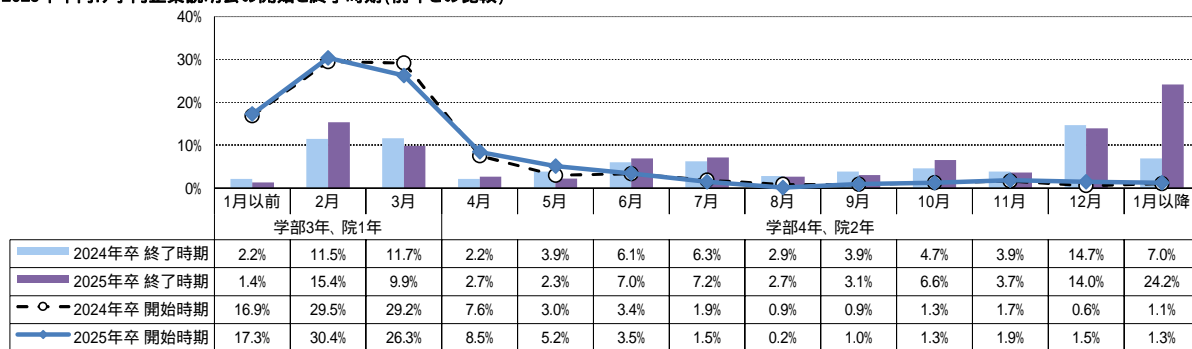
2025年卒向け学内企業説明会の開始時期

	全体 (n=520)	国公立 (n=107)	私立 (n=413)	北海道・東北 (n=71)	関東 (n=184)	甲信越・北陸 (n=35)	東海(n=55)	関西(n=84)	中国・四国 (n=42)	九州・沖縄 (n=49)	参考:前年 調査
2024年1月以前	17.3%	17.8%	17.2%	15.5%	22.8%	17.1%	14.5%	14.3%	7.1%	16.3%	16.9%
2024年2月	30.4%	14.0%	34.6%	18.3%	31.0%	20.0%	40.0%	44.0%	19.0%	28.6%	29.5%
2024年3月	26.3%	51.4%	19.9%	39.4%	19.0%	37.1%	16.4%	16.7%	45.2%	38.8%	29.2%
2024年4月	8.5%	5.6%	9.2%	8.5%	7.1%	11.4%	7.3%	8.3%	14.3%	8.2%	7.6%
2024年5月	5.2%	1.9%	6.1%	2.8%	6.0%	-	3.6%	9.5%	4.8%	4.1%	3.0%
2024年6月	3.5%	2.8%	3.6%	8.5%	4.3%	-	3.6%	1.2%	2.4%	-	3.4%
2024年7月	1.5%	-	1.9%	-	2.7%	-	-	3.6%	-	-	1.9%
2024年8月	0.2%	-	0.2%	-	-	2.9%	-	-	-	-	0.9%
2024年9月	1.0%	1.9%	0.7%	2.8%	0.5%	2.9%	1.8%	-	-	-	0.9%
2024年10月	1.3%	0.9%	1.5%	-	0.5%	-	7.3%	1.2%	-	2.0%	1.3%
2024年11月	1.9%	-	2.4%	1.4%	4.3%	-	-	-	2.4%	-	1.7%
2024年12月	1.5%	1.9%	1.5%	1.4%	0.5%	8.6%	1.8%	1.2%	-	2.0%	0.6%
2025年1月以降	1.3%	1.9%	1.2%	1.4%	1.1%	-	3.6%	-	4.8%	-	3.0%

2025年卒向け学内企業説明会の終了時期

	全体 (n=487)	国公立 (n=96)	私立 (n=391)	北海道・東北 (n=64)	関東 (n=177)	甲信越・北陸 (n=33)	東海(n=52)	関西(n=80)	中国・四国 (n=37)	九州・沖縄 (n=44)	参考:前年 調査
2024年1月以前	1.4%	4.2%	0.8%	4.7%	1.1%	3.0%	1.9%	-	-	-	2.2%
2024年2月	15.4%	10.4%	16.6%	4.7%	19.2%	3.0%	23.1%	18.8%	10.8%	13.6%	11.5%
2024年3月	9.9%	19.8%	7.4%	12.5%	9.0%	12.1%	17.3%	7.5%	5.4%	6.8%	11.7%
2024年4月	2.7%	4.2%	2.3%	1.6%	2.3%	-	1.9%	2.5%	2.7%	9.1%	2.2%
2024年5月	2.3%	3.1%	2.0%	4.7%	1.7%	9.1%	-	-	2.7%	2.3%	3.9%
2024年6月	7.0%	6.3%	7.2%	6.3%	11.3%	-	9.6%	3.8%	2.7%	2.3%	6.1%
2024年7月	7.2%	4.2%	7.9%	6.3%	7.9%	12.1%	9.6%	6.3%	2.7%	4.5%	6.3%
2024年8月	2.7%	4.2%	2.3%	1.6%	2.8%	6.1%	1.9%	2.5%	-	4.5%	2.9%
2024年9月	3.1%	7.3%	2.0%	3.1%	1.1%	3.0%	1.9%	3.8%	10.8%	4.5%	3.9%
2024年10月	6.6%	3.1%	7.4%	6.3%	6.8%	3.0%	3.8%	10.0%	10.8%	2.3%	4.7%
2024年11月	3.7%	2.1%	4.1%	1.6%	5.1%	3.0%	1.9%	3.8%	2.7%	4.5%	3.9%
2024年12月	14.0%	5.2%	16.1%	10.9%	16.4%	12.1%	11.5%	18.8%	8.1%	9.1%	14.7%
2025年1月以降	24.2%	26.0%	23.8%	35.9%	15.3%	33.3%	15.4%	22.5%	40.5%	36.4%	26.0%

2025年卒向け学内企業説明会の開始と終了時期(前年との比較)



(4) 低学年時からのキャリア教育やインターンシップについて

キャリア教育(正課)は86.3%(前年比1.9pt増)が実施しており前年よりも実施の割合は増えた。前年同様に「学部1年次前期」63.6%(前年比1.4pt減)から開始している大学が最も多く、キャリア教育(正課)を実施している大学の多くが大学1年からキャリア教育に取り組んでいる。

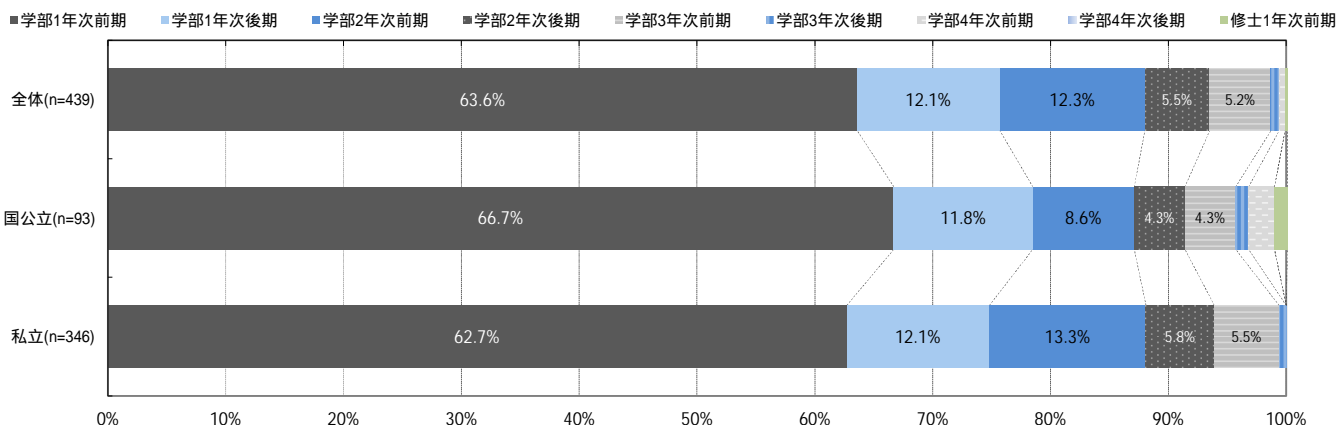
キャリア教育(正課)を実施しているか

	全体 (n=664)	国公立 (n=152)	私立 (n=512)	北海道・東 北(n=85)	関東 (n=229)	甲信越・北 陸(n=55)	東海(n=69)	関西 (n=116)	中国・四国 (n=52)	九州・沖縄 (n=58)	参考:前年 調査
実施している	86.3%	82.9%	87.3%	85.9%	86.0%	85.5%	82.6%	86.2%	94.2%	86.2%	84.4%
実施していない	13.7%	17.1%	12.7%	14.1%	14.0%	14.5%	17.4%	13.8%	5.8%	13.8%	15.6%

キャリア教育の開始時期

	全体 (n=439)	国公立 (n=93)	私立 (n=346)	北海道・東 北(n=53)	関東 (n=147)	甲信越・北 陸(n=39)	東海(n=43)	関西(n=79)	中国・四国 (n=36)	九州・沖縄 (n=42)	参考:前年 調査
学部1年次前期	63.6%	66.7%	62.7%	58.5%	64.6%	59.0%	58.1%	68.4%	72.2%	59.5%	65.0%
学部1年次後期	12.1%	11.8%	12.1%	17.0%	11.6%	10.3%	16.3%	6.3%	8.3%	19.0%	13.8%
学部2年次前期	12.3%	8.6%	13.3%	11.3%	16.3%	5.1%	14.0%	11.4%	11.1%	7.1%	11.5%
学部2年次後期	5.5%	4.3%	5.8%	7.5%	2.0%	12.8%	7.0%	7.6%	5.6%	2.4%	4.6%
学部3年次前期	5.2%	4.3%	5.5%	3.8%	4.1%	7.7%	4.7%	5.1%	2.8%	11.9%	4.2%
学部3年次後期	0.7%	1.1%	0.6%	1.9%	0.7%	-	-	1.3%	-	-	0.4%
学部4年次前期	0.5%	2.2%	-	-	-	5.1%	-	-	-	-	-
学部4年次後期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
修士1年次前期	0.2%	1.1%	-	-	0.7%	-	-	-	-	-	0.2%
修士1年次後期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2%
修士2年次前期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
修士2年次後期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

キャリア教育の開始時期



キャリア教育(正課)への受講履修者の割合を聞いた。各学年の最多割合は、大学1年生対象では「10割」の35.1%、大学2年生対象では「3割以下」の36.8%となった。大学1年生が参加割合として高い傾向にある。入学してまだ間もない時期に、キャリア教育を必修授業として設定している大学が多いことが推察され、大学2年生では必須としていないために参加割合が減少していると考えられる。

低学年(大学1、2年生)対象のキャリア教育(正課)内容に関しては1位「職業観涵養、キャリア形成を目的とした授業」が90.5%(前年比2.9pt減)、2位「社会人基礎力の醸成を目的とした授業」が73.1%(前年比3.6pt減)と実施率が高かった。もっとも割合を増やしたのは「就業体験を伴う授業(インターンシップ等)」が37.2%(前年比6.5pt増)となった。また、キャリア教育(正課・正課外問わず)の中で条件が整えば取り組みたい内容では「職業観涵養、キャリア形成を目的とした授業」が39.0%と最も高い割合となった。「アントレプレナーシップの視点を踏まえた授業」は取り組まれている内容では8.6%と高くはないが、条件が整えば取り組みたい内容では18.0%となり関心の高さが増えた。

キャリア教育(正課)への受講について、1学年の在籍人数を母数としたときの履修者の割合

【学部1年生対象】	全体 (n=501)	国公立 (n=104)	私立 (n=397)	北海道・東 北(n=69)	関東 (n=174)	甲信越・北 陸(n=39)	東海(n=52)	関西(n=81)	中国・四国 (n=44)	九州・沖縄 (n=42)	参考:前年 調査
10割	35.1%	34.6%	35.3%	53.6%	29.3%	41.0%	46.2%	22.2%	31.8%	38.1%	36.2%
8~9割	11.0%	8.7%	11.6%	7.2%	10.9%	12.8%	7.7%	13.6%	18.2%	7.1%	14.4%
6~7割	7.4%	9.6%	6.8%	4.3%	5.2%	7.7%	5.8%	12.3%	4.5%	16.7%	5.9%
4~5割	6.0%	3.8%	6.5%	1.4%	7.5%	-	5.8%	8.6%	6.8%	7.1%	6.6%
3割以下	19.2%	25.0%	17.6%	15.9%	24.1%	12.8%	11.5%	23.5%	18.2%	11.9%	20.8%
この対象では実施していない	21.4%	18.3%	22.2%	17.4%	23.0%	25.6%	23.1%	19.8%	20.5%	19.0%	16.0%

【学部2年生対象】	全体 (n=484)	国公立 (n=96)	私立 (n=388)	北海道・東 北(n=63)	関東 (n=167)	甲信越・北 陸(n=39)	東海(n=50)	関西(n=81)	中国・四国 (n=42)	九州・沖縄 (n=42)	参考:前年 調査
10割	26.9%	18.8%	28.9%	31.7%	25.7%	41.0%	28.0%	22.2%	26.2%	19.0%	21.4%
8~9割	8.9%	2.1%	10.6%	7.9%	9.6%	7.7%	8.0%	9.9%	7.1%	9.5%	12.6%
6~7割	7.2%	8.3%	7.0%	7.9%	7.2%	10.3%	8.0%	4.9%	4.8%	9.5%	6.9%
4~5割	8.5%	5.2%	9.3%	4.8%	6.0%	5.1%	6.0%	14.8%	11.9%	14.3%	12.9%
3割以下	36.8%	46.9%	34.3%	36.5%	42.5%	25.6%	30.0%	40.7%	28.6%	33.3%	34.3%
この対象では実施していない	11.8%	18.8%	10.1%	11.1%	9.0%	10.3%	20.0%	7.4%	21.4%	14.3%	12.0%

キャリア教育(正課)についての関わり(複数回答)

	全体 (n=484)	国公立 (n=114)	私立 (n=431)	北海道・東 北(n=69)	関東 (n=188)	甲信越・北 陸(n=45)	東海(n=54)	関西(n=94)	中国・四国 (n=48)	九州・沖縄 (n=47)	参考:前年 調査
授業内容について、授業担当教員と相談して決めている	42.8%	34.2%	45.0%	49.3%	38.8%	53.3%	40.7%	45.7%	39.6%	38.3%	50.2%
授業で登壇する機会がある	42.6%	29.8%	45.9%	42.0%	47.9%	33.3%	44.4%	43.6%	35.4%	34.0%	46.4%
授業の履修状況を把握している	37.8%	40.4%	37.1%	47.8%	36.7%	33.3%	40.7%	35.1%	27.1%	44.7%	38.4%
授業のアンケートなどを確認している	27.0%	28.9%	26.5%	39.1%	25.5%	24.4%	24.1%	25.5%	25.0%	25.5%	32.2%
その他	16.3%	14.9%	16.7%	15.9%	16.5%	15.6%	22.2%	13.8%	14.6%	17.0%	13.4%
特に関わっていることはない	19.3%	28.9%	16.7%	17.4%	19.1%	15.6%	13.0%	19.1%	33.3%	19.1%	18.8%

キャリア教育(正課)の中で取り組まれている内容(複数回答可)

【低学年(学部1・2年生)対象】	全体 (n=524)	国公立 (n=108)	私立 (n=416)	北海道・東 北(n=68)	関東 (n=179)	甲信越・北 陸(n=45)	東海(n=53)	関西(n=90)	中国・四国 (n=45)	九州・沖縄 (n=44)	参考:前年 調査
職業観涵養、キャリア形成を目的とした授業	90.5%	89.8%	90.6%	89.7%	91.1%	84.4%	90.6%	93.3%	91.1%	88.6%	93.4%
社会人基礎力の醸成を目的とした授業	73.1%	63.0%	75.7%	70.6%	75.4%	68.9%	75.5%	73.3%	68.9%	72.7%	76.7%
就業体験を伴う授業(インターンシップ等)	37.2%	38.9%	36.8%	27.9%	34.6%	33.3%	37.7%	42.2%	46.7%	45.5%	30.7%
働くことに関するルール(労働関係法令等)の授業	28.6%	29.6%	28.4%	33.8%	25.7%	17.8%	37.7%	27.8%	33.3%	29.5%	25.7%
企業と連携して実施する課題解決型の授業(PBL)	26.7%	27.8%	26.4%	23.5%	23.5%	24.4%	22.6%	31.1%	26.7%	43.2%	27.0%
資格取得・就職対策等を目的とした授業	22.3%	10.2%	25.5%	22.1%	25.1%	8.9%	32.1%	21.1%	22.2%	15.9%	20.4%
男女共同参画の視点を踏まえたキャリア授業	21.2%	25.9%	20.0%	16.2%	23.5%	11.1%	17.0%	21.1%	26.7%	29.5%	20.4%
ポートフォリオを活用したキャリア形成に関する授業	15.1%	18.5%	14.2%	14.7%	14.0%	6.7%	18.9%	13.3%	24.4%	18.2%	16.3%
アントレプレナーシップの視点を踏まえた授業	8.6%	14.8%	7.0%	11.8%	7.8%	6.7%	5.7%	6.7%	13.3%	11.4%	-
この対象では、実施していない	4.4%	5.6%	4.1%	5.9%	3.4%	2.2%	5.7%	3.3%	6.7%	6.8%	1.4%

キャリア教育(正課・正課外問わず)の中で条件が整えば取り組みたい内容(複数回答可)

低学年(学部1・2年生)対象	全体 (n=462)	国公立 (n=79)	私立 (n=383)	北海道・東 北(n=60)	関東 (n=163)	甲信越・北 陸(n=36)	東海(n=47)	関西(n=85)	中国・四国 (n=37)	九州・沖縄 (n=34)
企業と連携して実施する課題解決型の授業(PBL)	39.0%	39.2%	38.9%	36.7%	35.6%	36.1%	38.3%	45.9%	45.9%	38.2%
職業観涵養、キャリア形成を目的とした授業	38.1%	44.3%	36.8%	28.3%	38.7%	41.7%	40.4%	38.8%	45.9%	35.3%
社会人基礎力の醸成を目的とした授業	36.1%	40.5%	35.2%	43.3%	31.9%	33.3%	44.7%	31.8%	43.2%	38.2%
就業体験を伴う授業(インターンシップ等)	33.5%	32.9%	33.7%	25.0%	31.9%	33.3%	42.6%	38.8%	32.4%	32.4%
働くことに関するルール(労働関係法令等)の授業	23.4%	27.8%	22.5%	18.3%	20.2%	25.0%	34.0%	24.7%	27.0%	23.5%
ポートフォリオを活用したキャリア形成に関する授業	19.9%	24.1%	19.1%	21.7%	20.9%	27.8%	17.0%	15.3%	16.2%	23.5%
アントレプレナーシップの視点を踏まえた授業	18.0%	19.0%	17.8%	15.0%	17.8%	11.1%	21.3%	11.8%	27.0%	32.4%
資格取得・就職対策等を目的とした授業	17.7%	21.5%	17.0%	16.7%	17.8%	19.4%	19.1%	16.5%	10.8%	26.5%
男女共同参画の視点を踏まえたキャリア授業	11.5%	15.2%	10.7%	13.3%	9.2%	11.1%	17.0%	8.2%	18.9%	11.8%
その他	6.5%	12.7%	5.2%	8.3%	9.8%	2.8%	4.3%	2.4%	10.8%	-

低学年(学部1・2年生)向けのアセスメントツール実施有無について

	全体 (n=664)	国公立 (n=152)	私立 (n=512)	北海道・東 北(n=85)	関東 (n=229)	甲信越・北 陸(n=55)	東海(n=69)	関西(n=116)	中国・四国 (n=52)	九州・沖縄 (n=58)	参考:前年 調査
実施している	48.2%	33.6%	52.5%	41.2%	53.7%	47.3%	47.8%	40.5%	50.0%	51.7%	47.2%
実施していない	51.8%	66.4%	47.5%	58.8%	46.3%	52.7%	52.2%	59.5%	50.0%	48.3%	52.8%

大学で実施する単位認定型のインターンシップの実施に関して、2025年卒は「例年通り実施」が64.5%（前年比1.8pt増）となった。「実施しなかった」は26.3%（前年比2.4pt減）となり実施は増加傾向にある。2026年卒に向けた予定では、「例年通り実施」が63.0%（前年比1.2pt増）、「実施しない」は22.7%（前年比3.3pt減）となっており、引き続き多くの大学が実施する予定となっている。

2022年6月に改正された「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」（三省合意）を受けて4類型のどのタイプを推奨しているかでは、【学部3年生・修士1年生】では「タイプ1：オープン・カンパニー」47.1%ともっとも高かった。比較的参加しやすいタイプ1は学生の興味や視野を広げ、自らのキャリアを主体的に考えるきっかけとなることから推奨しているのかもしれない。次いで「タイプ3：汎用的能力・専門活用型インターンシップ」が15.1%となった。

【2025年卒実績】単位認定型インターンシップを実施しましたか

	全体 (n=628)	国公立 (n=137)	私立 (n=491)	北海道・東 北(n=83)	関東 (n=218)	甲信越・北 陸(n=52)	東海(n=66)	関西 (n=107)	中国・四国 (n=51)	九州・沖縄 (n=51)	参考:前年 調査
例年通り実施	64.5%	63.5%	64.8%	61.4%	57.8%	65.4%	72.7%	67.3%	68.6%	76.5%	62.7%
規模を縮小して実施	1.6%	1.5%	1.6%	-	1.8%	1.9%	-	0.9%	2.0%	5.9%	4.2%
規模を拡大して実施	1.3%	-	1.6%	1.2%	2.3%	-	-	1.9%	-	-	0.2%
実施しなかった	26.3%	31.4%	24.8%	33.7%	30.7%	28.8%	19.7%	21.5%	19.6%	17.6%	28.7%
その他	6.4%	3.6%	7.1%	3.6%	7.3%	3.8%	7.6%	8.4%	9.8%	-	4.2%

【2026年卒予定】単位認定型インターンシップを実施する予定ですか

	全体 (n=625)	国公立 (n=136)	私立 (n=489)	北海道・東 北(n=83)	関東 (n=215)	甲信越・北 陸(n=52)	東海(n=66)	関西 (n=107)	中国・四国 (n=51)	九州・沖縄 (n=51)	参考:前年 調査
例年通り実施	63.0%	62.5%	63.2%	55.4%	58.1%	61.5%	71.2%	63.6%	72.5%	76.5%	61.8%
規模を縮小して実施	1.3%	1.5%	1.2%	-	0.9%	1.9%	-	3.7%	-	2.0%	2.9%
規模を拡大して実施	2.9%	1.5%	3.3%	4.8%	3.3%	3.8%	1.5%	2.8%	-	2.0%	1.7%
実施しない	22.7%	27.9%	21.3%	28.9%	26.0%	26.9%	18.2%	17.8%	15.7%	17.6%	26.0%
まだ決まっていない	4.5%	2.9%	4.9%	8.4%	5.6%	3.8%	-	3.7%	3.9%	2.0%	2.9%
その他	5.6%	3.7%	6.1%	2.4%	6.0%	1.9%	9.1%	8.4%	7.8%	-	4.7%

三省合意を受け、どの対象にどの4類型のタイプを推奨しているか。(複数回答可)

【学部3年生・修士1年生】	全体 (n=616)	国公立 (n=130)	私立 (n=486)	北海道・東 北(n=80)	関東 (n=214)	甲信越・北 陸(n=50)	東海(n=63)	関西 (n=105)	中国・四国 (n=51)	九州・沖縄 (n=53)
タイプ1: オープン・カンパニー	47.1%	31.5%	51.2%	36.3%	51.4%	32.0%	57.1%	52.4%	47.1%	37.7%
タイプ2: キャリア教育	7.1%	6.2%	7.4%	12.5%	3.3%	4.0%	9.5%	9.5%	9.8%	7.5%
タイプ3: 汎用的能力・専門活用型インターンシップ	15.1%	20.8%	13.6%	23.8%	13.6%	22.0%	7.9%	11.4%	13.7%	18.9%
タイプ4: 高度専門型インターンシップ	0.8%	-	1.0%	-	1.4%	-	-	1.0%	2.0%	-
特に推奨しているものはない	29.9%	41.5%	26.7%	27.5%	30.4%	42.0%	25.4%	25.7%	27.5%	35.8%

【低学年(学部1・2年生)】	全体 (n=613)	国公立 (n=128)	私立 (n=485)	北海道・東 北(n=79)	関東 (n=214)	甲信越・北 陸(n=48)	東海(n=63)	関西 (n=105)	中国・四国 (n=51)	九州・沖縄 (n=53)
タイプ1: オープン・カンパニー	42.7%	35.9%	44.5%	36.7%	43.5%	35.4%	39.7%	45.7%	43.1%	52.8%
タイプ2: キャリア教育	11.6%	7.0%	12.8%	15.2%	8.9%	10.4%	15.9%	17.1%	7.8%	5.7%
特に推奨しているものはない	45.7%	57.0%	42.7%	48.1%	47.7%	54.2%	44.4%	37.1%	49.0%	41.5%

(5) 大学で行っている就職支援について

人事担当者がキャリアセンターに求人票を[直接持参]した企業数は「増えた」が42.8% (前年比10.6pt減) となった。「減った」の回答は6.0% (前年比0.7pt減) と微増。最多は「前年度並み」の51.2% (前年比9.9pt増) となった。また、求人票を[WEB提出]した企業数も「増えた」の回答は49.2% (前年比0.7pt減) と微減。求人票に関しては前年と大きな変化はなかったようだ。

人事担当者がキャリアセンターに求人(票)を[直接持参]した企業数は24年卒と比べて

	全体 (n=605)	国公立 (n=126)	私立 (n=479)	北海道・東 北(n=77)	関東 (n=214)	甲信越・北 陸(n=46)	東海(n=66)	関西 (n=103)	中国・四国 (n=49)	九州・沖縄 (n=50)	参考:前年 調査
増えた	42.8%	38.9%	43.8%	36.4%	44.9%	45.7%	51.5%	46.6%	38.8%	26.0%	53.4%
前年度並み	51.2%	54.0%	50.5%	59.7%	48.1%	47.8%	45.5%	51.5%	53.1%	60.0%	41.3%
減った	6.0%	7.1%	5.6%	3.9%	7.0%	6.5%	3.0%	1.9%	8.2%	14.0%	5.3%

人事担当者がキャリアセンターに求人(票)を[WEB提出]した企業数の増減

	全体 (n=585)	国公立 (n=118)	私立 (n=467)	北海道・東 北(n=73)	関東 (n=203)	甲信越・北 陸(n=45)	東海(n=66)	関西 (n=102)	中国・四国 (n=48)	九州・沖縄 (n=50)	参考:前年 調査
増えた	49.2%	50.8%	48.8%	43.8%	51.2%	40.0%	63.6%	49.0%	41.7%	45.8%	49.9%
前年度並み	47.5%	43.2%	48.6%	50.7%	46.3%	55.6%	34.8%	47.1%	56.3%	50.0%	47.6%
減った	3.2%	5.9%	2.6%	5.5%	2.5%	4.4%	1.5%	3.9%	2.1%	4.2%	2.4%

学校から企業に求人(票送付)の依頼を開始する時期(25年卒向け)(WEB受付含む)

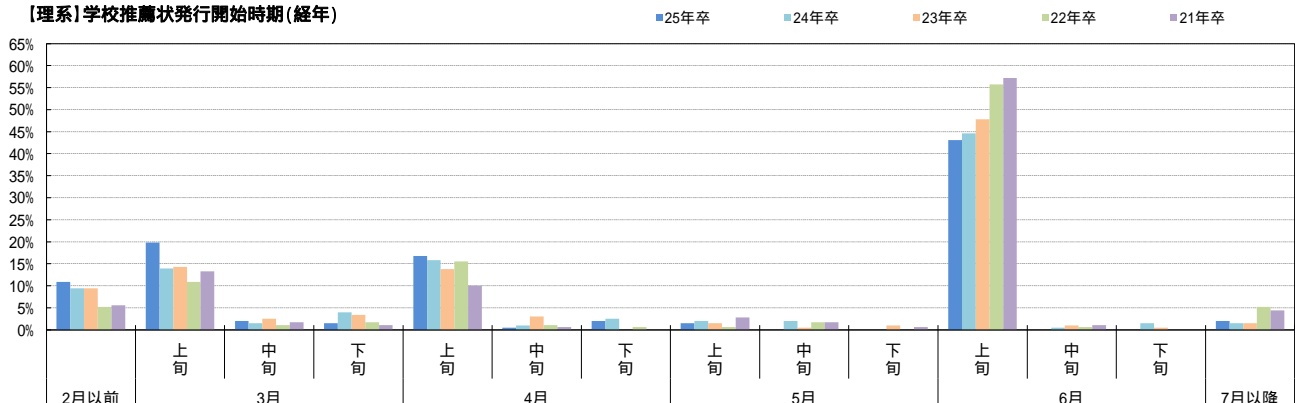
	全体 (n=598)	国公立 (n=129)	私立 (n=469)	北海道・東 北(n=81)	関東 (n=206)	甲信越・北 陸(n=47)	東海(n=62)	関西 (n=103)	中国・四国 (n=48)	九州・沖縄 (n=51)	参考:前年 調査
求人(票)の依頼はしない	43.8%	56.6%	40.3%	55.6%	42.7%	44.7%	45.2%	38.8%	37.5%	43.1%	42.7%
2023年9月以前	2.7%	3.9%	2.3%	3.7%	4.4%	2.1%	3.2%	1.0%	-	-	2.8%
2023年10月	3.0%	1.6%	3.4%	2.5%	3.4%	2.1%	3.2%	1.0%	4.2%	5.9%	1.9%
2023年11月	3.7%	3.1%	3.8%	1.2%	1.9%	6.4%	1.6%	7.8%	6.3%	3.9%	2.8%
2023年12月	13.7%	12.4%	14.1%	8.6%	11.7%	14.9%	16.1%	13.6%	22.9%	17.6%	11.1%
2024年1月	10.9%	4.7%	12.6%	8.6%	11.7%	6.4%	8.1%	15.5%	16.7%	3.9%	13.0%
2024年2月	9.5%	3.9%	11.1%	7.4%	10.2%	12.8%	8.1%	10.7%	6.3%	9.8%	12.4%
2024年3月	9.2%	12.4%	8.3%	7.4%	11.2%	8.5%	12.9%	5.8%	4.2%	11.8%	9.3%
2024年4月	0.8%	0.8%	0.9%	2.5%	0.5%	-	1.6%	1.0%	-	-	1.4%
2024年5月	0.2%	-	0.2%	-	-	-	-	1.0%	-	-	0.3%
2024年6月	1.3%	0.8%	1.5%	-	1.9%	2.1%	-	1.0%	-	3.9%	0.9%
2024年7月以降	1.2%	-	1.5%	2.5%	0.5%	-	-	2.9%	2.1%	-	1.6%

[理系] 学校推薦状発行開始時期は「3月以前の合計」が前年の28.8%から5.4ptと大きく伸び、今回34.2%となった。また、最も多いのは「6月上旬」の43.1%であることは変わらずであるが経年で下がり続けており緩やかに前倒しの傾向が見られた。

推薦状を発行する予定の学校のみ集計

【理系】学校推薦状発行開始時期		全体 (n=202)	国公立 (n=59)	私立 (n=143)	北海道・東 北(n=27)	関東 (n=65)	甲信越・北 陸(n=13)	東海(n=17)	関西(n=41)	中国・四国 (n=16)	九州・沖縄 (n=23)	参考:前年 調査
2024年2月以前		10.9%	11.9%	10.5%	18.5%	6.2%	23.1%	11.8%	17.1%	-	4.3%	9.4%
3月	上旬	19.8%	22.0%	18.9%	18.5%	18.5%	30.8%	23.5%	12.2%	25.0%	26.1%	13.9%
	中旬	2.0%	3.4%	1.4%	-	-	7.7%	-	2.4%	6.3%	4.3%	1.5%
	下旬	1.5%	-	2.1%	-	1.5%	-	-	2.4%	-	4.3%	4.0%
4月	上旬	16.8%	8.5%	20.3%	14.8%	13.8%	-	41.2%	9.8%	31.3%	21.7%	15.8%
	中旬	0.5%	-	0.7%	-	-	-	-	2.4%	-	-	1.0%
	下旬	2.0%	1.7%	2.1%	7.4%	1.5%	7.7%	-	-	-	-	2.5%
5月	上旬	1.5%	-	2.1%	-	1.5%	7.7%	-	2.4%	-	-	2.0%
	中旬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0%
	下旬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月	上旬	43.1%	52.5%	39.2%	40.7%	53.8%	15.4%	23.5%	48.8%	37.5%	39.1%	44.6%
	中旬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.5%
	下旬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.5%
7月以降		2.0%	-	2.8%	-	3.1%	7.7%	-	2.4%	-	-	1.5%
3月以前の合計		34.2%	37.3%	32.9%	37.0%	26.2%	61.6%	35.3%	34.1%	31.3%	39.0%	28.8%

【理系】学校推薦状発行開始時期(経年)



キャリア・就職ガイダンス、業界研究セミナー、学内企業説明会のWEB・対面の比率は、共通して「WEB開催」が減り、「対面開催」が増えるという結果となった。中でもキャリア・就職ガイダンスは「対面開催9割以上」が62.2%（前年比10.3pt増）と大きく増えた。エリアで見ると「関東」のキャリア・就職ガイダンスの「WEB開催9割以上」は20.4%（全体平均12.1%）とWEB開催比率が非常に高く、他エリアと差が明確に表れた。
 学生の相談は「対面開催9割以上」が52.3%、「やや対面の方が多い（対面開催6～9割）」が33.4%と高い。
 内定の見通しについては「上がりそう」が20.6%（前年比7.4pt減）となった。最多は「前年並み」の76.1%（前年比5.7pt増）となり、売り手市場・学生優位と言われる中、内定率は高止まりの状態にあるかもしれない。

キャリア・就職ガイダンス、インターンシップ等・業界研究セミナー、学内企業説明会、学生相談のWEBと対面の比率

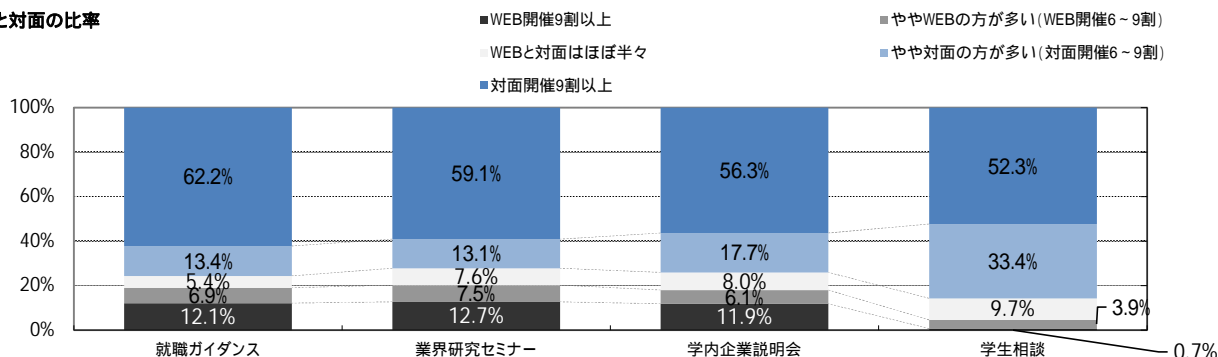
キャリア・就職ガイダンス	全体 (n=595)	国公立 (n=131)	私立 (n=464)	北海道・東北 (n=79)	関東 (n=211)	甲信越・北陸 (n=48)	東海(n=62)	関西(n=96)	中国・四国 (n=47)	九州・沖縄 (n=52)	参考:前年調査
WEB開催9割以上	12.1%	18.3%	10.3%	11.4%	20.4%	6.3%	4.8%	5.2%	10.6%	7.7%	17.5%
ややWEBの方が多い(WEB開催6～9割)	6.9%	9.2%	6.3%	6.3%	10.0%	8.3%	9.7%	5.2%	-	-	11.7%
WEBと対面はほぼ半々	5.4%	3.8%	5.8%	5.1%	5.2%	6.3%	4.8%	7.3%	2.1%	5.8%	4.5%
やや対面の方が多い(対面開催6～9割)	13.4%	16.0%	12.7%	12.7%	15.6%	20.8%	4.8%	13.5%	12.8%	9.6%	14.3%
対面開催9割以上	62.2%	52.7%	64.9%	64.6%	48.8%	58.3%	75.8%	68.8%	74.5%	76.9%	51.9%

インターンシップ等・業界研究セミナー	全体 (n=536)	国公立 (n=113)	私立 (n=423)	北海道・東北 (n=70)	関東 (n=195)	甲信越・北陸 (n=41)	東海(n=54)	関西(n=85)	中国・四国 (n=44)	九州・沖縄 (n=47)	参考:前年調査
WEB開催9割以上	12.7%	15.0%	12.1%	4.3%	20.5%	7.3%	9.3%	10.6%	4.5%	12.8%	24.9%
ややWEBの方が多い(WEB開催6～9割)	7.5%	8.0%	7.3%	11.4%	12.8%	2.4%	1.9%	4.7%	-	2.1%	8.6%
WEBと対面はほぼ半々	7.6%	9.7%	7.1%	7.1%	6.2%	12.2%	3.7%	9.4%	13.6%	6.4%	7.1%
やや対面の方が多い(対面開催6～9割)	13.1%	15.9%	12.3%	11.4%	15.4%	17.1%	9.3%	9.4%	13.6%	12.8%	14.4%
対面開催9割以上	59.1%	51.3%	61.2%	65.7%	45.1%	61.0%	75.9%	65.9%	68.2%	66.0%	45.0%

学内企業説明会	全体 (n=538)	国公立 (n=115)	私立 (n=423)	北海道・東北 (n=71)	関東 (n=195)	甲信越・北陸 (n=41)	東海(n=56)	関西(n=84)	中国・四国 (n=43)	九州・沖縄 (n=48)	参考:前年調査
WEB開催9割以上	11.9%	16.5%	10.6%	4.2%	19.0%	7.3%	8.9%	8.3%	7.0%	12.5%	18.9%
ややWEBの方が多い(WEB開催6～9割)	6.1%	7.8%	5.7%	1.4%	10.3%	2.4%	-	8.3%	4.7%	4.2%	8.8%
WEBと対面はほぼ半々	8.0%	10.4%	7.3%	9.9%	6.2%	14.6%	1.8%	9.5%	7.0%	12.5%	9.5%
やや対面の方が多い(対面開催6～9割)	17.7%	21.7%	16.5%	18.3%	14.4%	17.1%	10.7%	19.0%	23.3%	31.3%	16.1%
対面開催9割以上	56.3%	43.5%	59.8%	66.2%	50.3%	58.5%	78.6%	54.8%	58.1%	39.6%	46.7%

学生相談	全体 (n=596)	国公立 (n=130)	私立 (n=466)	北海道・東北 (n=75)	関東 (n=211)	甲信越・北陸 (n=48)	東海(n=64)	関西(n=98)	中国・四国 (n=48)	九州・沖縄 (n=52)	参考:前年調査
WEB開催9割以上	0.7%	1.5%	0.4%	1.3%	0.9%	-	1.6%	-	-	-	1.2%
ややWEBの方が多い(WEB開催6～9割)	3.9%	4.6%	3.6%	-	8.5%	2.1%	-	2.0%	2.1%	1.9%	5.1%
WEBと対面はほぼ半々	9.7%	9.2%	9.9%	8.0%	17.1%	6.3%	3.1%	8.2%	4.2%	1.9%	11.4%
やや対面の方が多い(対面開催6～9割)	33.4%	42.3%	30.9%	26.7%	32.7%	27.1%	35.9%	40.8%	33.3%	34.6%	33.7%
対面開催9割以上	52.3%	42.3%	55.2%	64.0%	40.8%	64.6%	59.4%	49.0%	60.4%	61.5%	48.6%

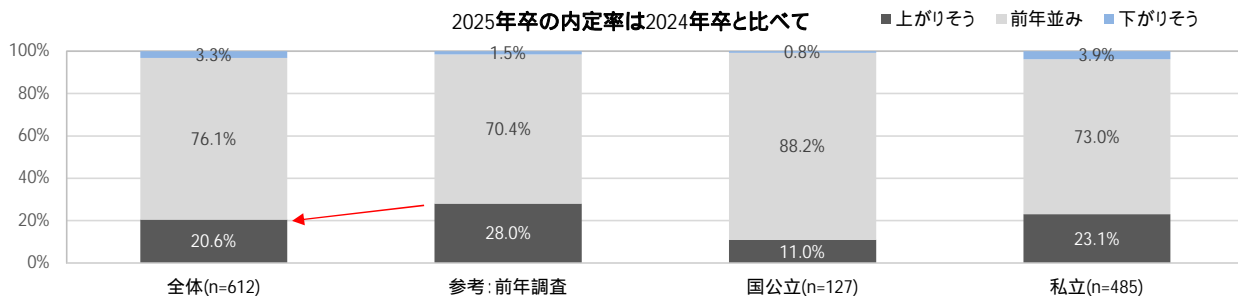
WEBと対面の比率



2025年卒学生の内定率は2024年卒と比べて

	全体 (n=612)	国公立 (n=127)	私立 (n=485)	北海道・東北 (n=80)	関東 (n=214)	甲信越・北陸 (n=49)	東海(n=65)	関西(n=103)	中国・四国 (n=48)	九州・沖縄 (n=53)	参考:前年調査
上がりそう	20.6%	11.0%	23.1%	18.8%	29.0%	10.2%	7.7%	23.3%	16.7%	13.2%	28.0%
前年並み	76.1%	88.2%	73.0%	77.5%	66.8%	89.8%	90.8%	71.8%	81.3%	84.9%	70.4%
下がりそう	3.3%	0.8%	3.9%	3.8%	4.2%	-	1.5%	4.9%	2.1%	1.9%	1.5%

2025年卒の内定率は2024年卒と比べて



データサイエンス関連で実施しているもの(複数回答)

	全体 (n=586)	国公立 (n=124)	私立 (n=462)	北海道・東 北(n=79)	関東 (n=204)	甲信越・北 陸(n=48)	東海(n=60)	関西(n=99)	中国・四国 (n=47)	九州・沖縄 (n=49)	参考:前年 調査
データサイエンス関連の企業・仕事を紹介している	11.3%	10.5%	11.5%	5.1%	15.2%	8.3%	6.7%	10.1%	6.4%	20.4%	8.4%
キャリア・就職ガイダンスのテーマにしている	4.4%	2.4%	5.0%	3.8%	6.9%	2.1%	5.0%	2.0%	-	6.1%	5.3%
データサイエンス関連のe-learningを実施している	2.0%	0.8%	2.4%	1.3%	2.9%	-	3.3%	3.0%	-	-	1.9%
その他	5.1%	5.6%	5.0%	2.5%	7.8%	4.2%	1.7%	4.0%	6.4%	4.1%	3.0%
実施はないが実施可能性はある	36.5%	29.0%	38.5%	41.8%	34.8%	31.3%	33.3%	38.4%	44.7%	32.7%	42.8%
実施も実施可能性もない	44.7%	54.8%	42.0%	48.1%	39.7%	54.2%	51.7%	45.5%	42.6%	42.9%	42.3%

対話形式で生成系AIが質問に答えるサービス(「ChatGPT」等)について、学生が就職活動に利用することに対し伝えていること

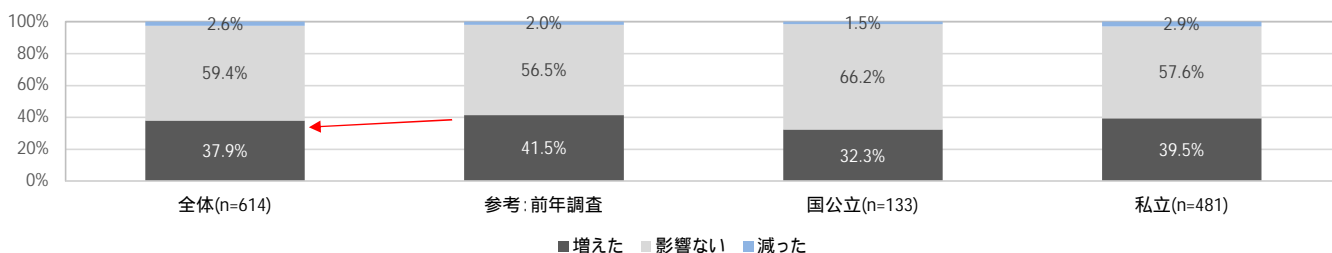
	全体 (n=593)	国公立 (n=127)	私立 (n=466)	北海道・東 北(n=79)	関東 (n=206)	甲信越・北 陸(n=49)	東海(n=63)	関西 (n=102)	中国・四国 (n=46)	九州・沖縄 (n=48)	参考:前年 調査
いかなる用途であっても活用に賛成である	2.5%	0.8%	3.0%	1.3%	1.9%	-	6.3%	2.0%	4.3%	4.2%	1.4%
補助的な用途であれば賛成である	69.6%	52.0%	74.5%	60.8%	72.8%	55.1%	68.3%	76.5%	69.6%	72.9%	53.0%
いかなる用途であっても活用に反対である	1.2%	1.6%	1.1%	-	2.9%	-	1.6%	-	-	-	1.0%
わからない	26.6%	45.7%	21.5%	38.0%	22.3%	44.9%	23.8%	21.6%	26.1%	22.9%	44.5%

25年卒のキャリアセンターの負荷は24年卒と比べて聞いたところ、「前年度並み」が最多の59.4%(前年比2.9pt増)、「増えた」は37.9%(前年比3.6pt減)、「減った」は2.6%(前年比0.6pt増)となった。「前年度並み」が最多ではあるが、「増えた」も37.9%と高い数値となっている。
 負荷を解消すべき業務としては、前年2位だった「企業等の来校への対応」が36.4%となり最多となった。次いで、「学生面談」が33.0%、「学内企業説明会の運営」が30.9%、「学内ガイダンスの運営」が29.1%、「インターンシップ等の運営」が26.7%、となった。「企業等の来校への対応」に関しては新型コロナウイルス感染症の影響が弱まったことに加え、企業側の高い採用意欲が現れた結果であると推察される。

キャリアセンターの負荷は2024年卒と比べて

	全体 (n=614)	国公立 (n=133)	私立 (n=481)	北海道・東 北(n=82)	関東 (n=214)	甲信越・北 陸(n=49)	東海(n=65)	関西 (n=104)	中国・四国 (n=48)	九州・沖縄 (n=52)	参考:前年 調査
増えた	37.9%	32.3%	39.5%	30.5%	39.3%	34.7%	43.1%	42.3%	37.5%	32.7%	41.5%
前年度並み	59.4%	66.2%	57.6%	62.2%	58.4%	65.3%	56.9%	54.8%	58.3%	67.3%	56.5%
減った	2.6%	1.5%	2.9%	7.3%	2.3%	-	-	2.9%	4.2%	-	2.0%

キャリアセンターの負荷は2024年卒と比べて



現状負荷がかかっており、負荷を解消すべき業務(複数回答)

	全体 (n=585)	国公立 (n=123)	私立 (n=462)	北海道・東 北(n=77)	関東 (n=204)	甲信越・北 陸(n=49)	東海(n=60)	関西(n=99)	中国・四国 (n=49)	九州・沖縄 (n=47)	参考:前年 調査
企業等の来校への対応	36.4%	45.5%	34.0%	51.9%	37.3%	32.7%	18.3%	26.3%	42.9%	48.9%	31.3%
学生面談	33.0%	25.2%	35.1%	33.8%	33.3%	28.6%	38.3%	32.3%	26.5%	36.2%	35.0%
学内企業説明会の運営	30.9%	25.2%	32.5%	37.7%	29.4%	32.7%	33.3%	27.3%	24.5%	36.2%	29.7%
学内ガイダンスの運営	29.1%	24.4%	30.3%	40.3%	31.4%	26.5%	28.3%	27.3%	8.2%	29.8%	27.5%
インターンシップ等の運営	26.7%	22.8%	27.7%	29.9%	27.9%	22.4%	25.0%	24.2%	28.6%	25.5%	28.8%
教員との連携	20.3%	11.4%	22.7%	14.3%	21.6%	16.3%	20.0%	22.2%	14.3%	31.9%	20.3%
特に負荷を解消すべき業務はない	16.6%	23.6%	14.7%	16.9%	16.7%	14.3%	15.0%	18.2%	12.2%	21.3%	17.6%
年間の方針・施策・スケジュール決め	16.4%	19.5%	15.6%	19.5%	18.1%	4.1%	18.3%	12.1%	22.4%	17.0%	14.1%
職員のスキルアップ	13.7%	6.5%	15.6%	13.0%	16.2%	8.2%	11.7%	13.1%	20.4%	6.4%	15.6%
授業の運営	11.8%	7.3%	13.0%	10.4%	12.7%	12.2%	10.0%	11.1%	12.2%	12.8%	9.7%
他部署との連携	11.8%	9.8%	12.3%	7.8%	17.6%	6.1%	6.7%	8.1%	10.2%	14.9%	12.1%
その他	11.5%	13.0%	11.0%	6.5%	9.8%	14.3%	15.0%	12.1%	14.3%	14.9%	10.3%
卒業生との連携	9.7%	4.9%	11.0%	6.5%	13.2%	6.1%	15.0%	6.1%	6.1%	8.5%	9.3%
新規企業開拓	9.6%	4.1%	11.0%	9.1%	12.3%	8.2%	10.0%	7.1%	10.2%	4.3%	9.9%
内定者フォロー	6.0%	4.9%	6.3%	6.5%	5.4%	2.0%	11.7%	3.0%	6.1%	10.6%	7.3%
予算管理	5.1%	4.9%	5.2%	6.5%	5.9%	8.2%	6.7%	3.0%	2.0%	2.1%	4.4%

これから最も力を入れていくキャリアセンターのミッションは前年に引き続き、「学生個々人の満足度向上」が52.6%と最も高い数値となった。次いで「就職希望者に占める就職率の向上」が20.3%（前年比3.3pt減）となっている。また、「大企業への就職人数の増加」は12.6%（前年比3.6pt増）となり、学生の大手志向の高まりを受け、数値が上がっている可能性が考えられる。

ミッションを目指すうえで注力施策（複数回答可）の上位6つは「キャリアセンターの利用率向上」63.8%、「学内ガイダンスの動員増」50.0%、「低学年へのキャリア支援の強化」47.8%、「学内企業説明会の動員増」44.7%、「個別面談の件数増」44.0%と「職員のスキルアップ」39.5%となった。

数値を2.0pt以上伸ばした施策としては、「外部の企業・団体等との連携」5.2pt増、「新規企業開拓」2.8pt増、「個別面談の件数増」2.6pt増、「低学年へのキャリア支援の強化」2.4pt増、「学内インターンシップ等の動員増」2.0pt増となった。継続的に注力していく施策に加えて、インターンシップやキャリア教育に関わる産学連携の取組や、低学年からのキャリア教育など多くの大学で施策に力を入れている様子が見えてくる。

キャリアセンターのミッションでこれから最も力を入れたいテーマ

	全体 (n=587)	国公立 (n=121)	私立 (n=466)	北海道・東北 (n=77)	関東 (n=206)	甲信越・北陸 (n=44)	東海(n=63)	関西(n=96)	中国・四国 (n=49)	九州・沖縄 (n=52)	参考:前年調査
学生個々人の満足度向上	52.6%	50.4%	53.2%	37.7%	54.4%	52.3%	63.5%	45.8%	57.1%	63.5%	52.5%
就職希望者に占める就職率の向上	20.3%	18.2%	20.8%	24.7%	20.9%	13.6%	11.1%	26.0%	18.4%	19.2%	23.6%
大企業への就職人数の増加	12.6%	3.3%	15.0%	7.8%	14.6%	13.6%	14.3%	18.8%	6.1%	3.8%	9.0%
地域企業への就職人数の増加	5.5%	12.4%	3.6%	14.3%	2.4%	13.6%	3.2%	-	12.2%	3.8%	4.4%
特定業種(公務員等)への就職人数の増加	4.8%	5.8%	4.5%	7.8%	3.9%	4.5%	7.9%	4.2%	-	5.8%	5.3%
その他	4.3%	9.9%	2.8%	7.8%	3.9%	2.3%	-	5.2%	6.1%	3.8%	5.1%

ミッションを目指すうえで注力している施策(複数回答)

	全体 (n=580)	国公立 (n=117)	私立 (n=463)	北海道・東北 (n=73)	関東 (n=204)	甲信越・北陸 (n=45)	東海(n=63)	関西(n=97)	中国・四国 (n=48)	九州・沖縄 (n=50)	参考:前年調査
キャリアセンターの利用率向上	63.8%	58.1%	65.2%	46.6%	66.7%	53.3%	60.3%	69.1%	62.5%	82.0%	64.3%
学内ガイダンスの動員増	50.0%	52.1%	49.5%	42.5%	47.1%	60.0%	46.0%	51.5%	58.3%	58.0%	48.6%
低学年へのキャリア支援の強化	47.8%	36.8%	50.5%	43.8%	49.5%	35.6%	41.3%	54.6%	47.9%	52.0%	45.4%
学内企業説明会の動員増	44.7%	48.7%	43.6%	34.2%	43.6%	46.7%	42.9%	51.5%	54.2%	42.0%	43.9%
個別面談の件数増	44.0%	32.5%	46.9%	37.0%	45.6%	37.8%	44.4%	45.4%	39.6%	54.0%	41.4%
職員のスキルアップ	39.5%	23.9%	43.4%	41.1%	41.7%	35.6%	34.9%	34.0%	52.1%	36.0%	41.6%
学生のスキル・マインド向上	37.4%	34.2%	38.2%	35.6%	40.2%	33.3%	36.5%	41.2%	29.2%	34.0%	39.5%
教職員・他部署との連携	35.7%	37.6%	35.2%	35.6%	35.8%	24.4%	38.1%	36.1%	39.6%	38.0%	35.9%
外部の企業・団体等との連携	25.0%	26.5%	24.6%	27.4%	27.9%	26.7%	12.7%	20.6%	29.2%	28.0%	19.8%
新規企業開拓	23.3%	15.4%	25.3%	19.2%	27.0%	24.4%	22.2%	25.8%	14.6%	18.0%	20.5%
学内インターンシップ等の動員増	19.5%	23.1%	18.6%	13.7%	24.0%	20.0%	9.5%	21.6%	20.8%	16.0%	17.5%
特定の業界・職種・企業紹介の強化	17.6%	12.0%	19.0%	11.0%	19.6%	17.8%	17.5%	24.7%	8.3%	14.0%	16.8%
学生への連絡ツール増(チャット・SNS・はがきなど)	16.2%	15.4%	16.4%	17.8%	16.7%	6.7%	23.8%	12.4%	8.3%	26.0%	15.2%
特定の業界・職種・企業の選考対策の強化	13.6%	7.7%	15.1%	8.2%	18.6%	8.9%	11.1%	16.5%	8.3%	8.0%	12.1%
キャリアコンサルタントの人数増	9.0%	5.1%	9.9%	9.6%	10.3%	4.4%	11.1%	5.2%	10.4%	10.0%	8.2%
他大学と連携し学生交流の強化	7.6%	7.7%	7.6%	5.5%	9.3%	6.7%	6.3%	8.2%	6.3%	6.0%	8.9%
その他	2.8%	6.0%	1.9%	4.1%	2.0%	4.4%	1.6%	4.1%	4.2%	-	4.1%

ミッションを目指すうえで最も注力している施策

	全体 (n=564)	国公立 (n=110)	私立 (n=454)	北海道・東北 (n=72)	関東 (n=198)	甲信越・北陸 (n=44)	東海(n=62)	関西(n=96)	中国・四国 (n=48)	九州・沖縄 (n=44)	参考:前年調査
キャリアセンターの利用率向上	24.6%	20.0%	25.8%	12.5%	29.3%	13.6%	21.0%	28.1%	27.1%	29.5%	27.5%
低学年へのキャリア支援の強化	12.1%	10.0%	12.6%	12.5%	15.2%	9.1%	9.7%	9.4%	8.3%	13.6%	12.3%
学生のスキル・マインド向上	11.7%	12.7%	11.5%	13.9%	14.1%	11.4%	6.5%	9.4%	12.5%	9.1%	10.4%
教職員・他部署との連携	7.8%	10.0%	7.3%	4.2%	5.6%	11.4%	12.9%	7.3%	10.4%	11.4%	5.9%
個別面談の件数増	7.4%	2.7%	8.6%	8.3%	6.6%	2.3%	6.5%	12.5%	6.3%	6.8%	8.8%
学内ガイダンスの動員増	7.1%	10.9%	6.2%	9.7%	5.1%	18.2%	4.8%	6.3%	6.3%	6.8%	7.9%
学内企業説明会の動員増	7.1%	10.0%	6.4%	4.2%	5.1%	4.5%	9.7%	11.5%	12.5%	4.5%	5.7%
職員のスキルアップ	4.6%	1.8%	5.3%	9.7%	3.0%	6.8%	4.8%	1.0%	6.3%	6.8%	4.8%
新規企業開拓	3.2%	1.8%	3.5%	2.8%	3.5%	4.5%	6.5%	3.1%	-	-	1.6%
外部の企業・団体等との連携	2.8%	5.5%	2.2%	4.2%	2.5%	4.5%	-	2.1%	4.2%	4.5%	1.8%
特定の業界・職種・企業の選考対策の強化	2.7%	1.8%	2.9%	4.2%	3.0%	2.3%	-	3.1%	2.1%	2.3%	1.6%
特定の業界・職種・企業紹介の強化	2.5%	2.7%	2.4%	2.8%	1.0%	4.5%	8.1%	2.1%	-	2.3%	2.9%
その他	2.3%	3.6%	2.0%	5.6%	2.0%	2.3%	1.6%	2.1%	2.1%	-	3.3%
学内インターンシップ等の動員増	1.8%	2.7%	1.5%	-	2.5%	2.3%	3.2%	1.0%	2.1%	-	1.5%
学生への連絡ツール増(チャット・SNS・はがきなど)	1.1%	0.9%	1.1%	1.4%	0.5%	-	4.8%	1.0%	-	-	1.6%
キャリアコンサルタントの人数増	0.9%	1.8%	0.7%	2.8%	1.0%	-	-	-	-	2.3%	1.6%
他大学と連携し学生交流の強化	0.4%	0.9%	0.2%	1.4%	-	2.3%	-	-	-	-	0.7%

最も注力している施策の具体的な内容

施策	エリア	学校区分	具体的な内容
キャリアセンターの利用率向上	東海	私立	キャリア系授業に登壇させていただく機会を増やし、下級生に向けてもキャリア支援課の利用を推進している。
キャリアセンターの利用率向上	関西	私立	低年次からキャリア支援を身近に感じてもらい気軽に利用してもらえるよう定期的にガイダンスやセミナーを開催し、直接的な接触を図っている。ガイダンス内では利用できるキャリア支援についても紹介している。
キャリアセンターの利用率向上	関東	私立	個別対応により注力する予定。そのため、3年生との全員面談を前期に実施し、就職支援センターの活用率の向上と学生の実態把握に力をいれている。
外部の企業・団体等との連携	九州・沖縄	私立	要配慮学生の増加に伴い、専門機関とスムーズな出口支援が必要と感じるため。
学生のスキル・マインド向上	中国・四国	私立	今の学生が何を考えているか、何を求めているかのアンケートを定期的に取り取る。
個別面談の件数増	北海道・東北	私立	カウンセリングにより不安を解消し、就職につなげる。
職員のスキルアップ	関西	私立	職員がよりの確なアドバイスをすることができるように、企業、業界の知識向上を目指す。
新規企業開拓	甲信越・北陸	私立	本学主催の学内合説への大企業の出展増の働きかけ。
低学年へのキャリア支援の強化	中国・四国	公立	低学年学生への就業体験の機会の増加を図る取り組みの実施(企業見学、就業体験)。
低学年へのキャリア支援の強化	関西	国立	教員採用試験の早期化に伴う、早期からの筆記試験対策。
低学年へのキャリア支援の強化	九州・沖縄	私立	就活テクニックではなく、低学年次から長い人生を見据えたキャリア形成の意識を醸成することが大切であると感じる。

キャリア支援・就職支援に関して、特に知りたいとおもう情報について、1位の「他大学の支援事例(71.4%)」に加え、「企業の採用動向(49.7%)」などが上位にあがった。前年同様に変化への対応が求められる中で、企業や大学の具体的な事例や動向をキャッチしておきたいと推察される。2位は「低学年支援」で55.8%と前年比2.8pt増となった。3位は「学内イベントの動員対策」で52.1%となり、動員に対する課題がより強まっていると思われる。

キャリア支援・就職支援に関して、特に知りたいとおもう情報(複数回答)

	全体 (n=597)	国公立 (n=128)	私立 (n=469)	北海道・東 北(n=78)	関東 (n=208)	甲信越・北 陸(n=49)	東海(n=65)	関西(n=98)	中国・四国 (n=48)	九州・沖縄 (n=51)	参考:前年 調査
他大学の支援事例	71.4%	68.8%	72.1%	73.1%	70.2%	75.5%	66.2%	75.5%	66.7%	72.5%	74.4%
低学年支援	55.8%	39.8%	60.1%	48.7%	60.6%	44.9%	53.8%	57.1%	54.2%	58.8%	53.0%
学内イベントの動員対策	52.1%	59.4%	50.1%	50.0%	52.4%	46.9%	52.3%	53.1%	50.0%	58.8%	49.6%
企業の採用動向	49.7%	43.0%	51.6%	39.7%	51.9%	36.7%	52.3%	61.2%	45.8%	47.1%	49.1%
障がいがある学生支援	49.4%	43.0%	51.2%	44.9%	50.5%	40.8%	49.2%	53.1%	45.8%	56.9%	47.7%
人事の評価基準	43.2%	37.5%	44.8%	38.5%	44.2%	36.7%	47.7%	45.9%	35.4%	49.0%	38.8%
学生の就活動向	41.9%	49.2%	39.9%	33.3%	43.3%	40.8%	36.9%	45.9%	41.7%	49.0%	39.3%
後半動向への学生支援	41.4%	39.8%	41.8%	42.3%	42.3%	38.8%	43.1%	38.8%	37.5%	45.1%	45.9%
インターンシップ支援	33.5%	29.7%	34.5%	26.9%	35.1%	34.7%	35.4%	31.6%	33.3%	37.3%	35.2%
留学生支援	31.8%	33.6%	31.3%	25.6%	36.1%	30.6%	33.8%	32.7%	29.2%	23.5%	31.0%
理系学生支援	10.9%	18.8%	8.7%	7.7%	9.6%	8.2%	12.3%	12.2%	12.5%	17.6%	10.8%
DX推進	10.6%	9.4%	10.9%	6.4%	12.5%	10.2%	13.8%	7.1%	4.2%	17.6%	12.0%
体育会系学生支援	9.9%	0.8%	12.4%	6.4%	9.6%	14.3%	9.2%	11.2%	10.4%	9.8%	8.1%
オンライン就活	8.4%	11.7%	7.5%	6.4%	7.7%	8.2%	7.7%	6.1%	16.7%	11.8%	11.6%
最新ナビサイト情報	6.0%	5.5%	6.2%	3.8%	6.7%	2.0%	6.2%	6.1%	6.3%	9.8%	6.4%
メディカル系学生支援	5.2%	4.7%	5.3%	3.8%	5.8%	-	6.2%	5.1%	6.3%	7.8%	6.7%
保育学生支援	4.2%	4.7%	4.1%	5.1%	1.4%	4.1%	9.2%	4.1%	2.1%	9.8%	6.9%
高大接続改革	3.2%	1.6%	3.6%	1.3%	3.4%	6.1%	3.1%	2.0%	2.1%	5.9%	4.2%
その他	2.3%	4.7%	1.7%	-	1.4%	2.0%	4.6%	4.1%	6.3%	-	2.7%
特になし	1.8%	4.7%	1.1%	-	2.4%	6.1%	1.5%	-	2.1%	2.0%	2.0%

(6) 新卒紹介について

新卒紹介における各校の状況は、「希望学生に個別に案内している + 希望学生のための登録会を実施している + なるべく多くの学生に登録させるための施策をとっている」の割合が36.7% (前年比2.2pt減) となった。案内開始希望月は、「卒業・修了年次 [前年] 3月以前計」が54.9%と約半数が、卒業・修了年次の [前年] を希望している。

新卒紹介における各校の状況

	全体 (n=598)	国公立 (n=129)	私立 (n=469)	北海道・東 北(n=80)	関東 (n=208)	甲信越・北 陸(n=50)	東海(n=63)	関西(n=99)	中国・四国 (n=50)	九州・沖縄 (n=48)	参考: 前年 調査
特に何もしていない	46.5%	64.3%	41.6%	61.3%	33.2%	66.0%	52.4%	40.4%	50.0%	60.4%	45.3%
情報は集めているが、学生には勧めていない	16.9%	10.1%	18.8%	18.8%	20.7%	10.0%	22.2%	11.1%	16.0%	10.4%	15.8%
希望学生に個別に案内している	19.9%	15.5%	21.1%	15.0%	23.1%	14.0%	19.0%	24.2%	14.0%	18.8%	23.0%
希望学生のための登録会を実施している	10.9%	6.2%	12.2%	1.3%	15.9%	8.0%	3.2%	18.2%	10.0%	4.2%	9.9%
なるべく多くの学生に登録させるための施策をとっている	5.9%	3.9%	6.4%	3.8%	7.2%	2.0%	3.2%	6.1%	10.0%	6.3%	6.0%
希望学生に個別に案内している + 希望学生のための登録会を実施している + なるべく多くの学生に登録させるための施策をとっている	36.7%	25.6%	39.7%	20.1%	46.2%	24.0%	25.4%	48.5%	34.0%	29.3%	38.9%

新卒紹介の案内開始希望月

	全体 (n=352)	国公立 (n=63)	私立 (n=289)	北海道・東 北(n=37)	関東 (n=134)	甲信越・北 陸(n=22)	東海(n=36)	関西(n=62)	中国・四国 (n=32)	九州・沖縄 (n=29)	参考: 前年 調査
卒業・修了年次 [前年] 5月以前	15.6%	25.4%	13.5%	24.3%	14.9%	18.2%	13.9%	11.3%	18.8%	13.8%	16.9%
卒業・修了年次 [前年] 6月	7.4%	7.9%	7.3%	10.8%	8.2%	9.1%	2.8%	11.3%	3.1%	-	4.7%
卒業・修了年次 [前年] 7月	1.4%	-	1.7%	-	2.2%	-	-	3.2%	-	-	0.6%
卒業・修了年次 [前年] 8月	0.9%	-	1.0%	2.7%	0.7%	-	-	-	3.1%	-	1.9%
卒業・修了年次 [前年] 9月	3.7%	1.6%	4.2%	5.4%	3.7%	4.5%	-	4.8%	-	6.9%	3.6%
卒業・修了年次 [前年] 10月	4.3%	3.2%	4.5%	5.4%	6.0%	4.5%	2.8%	4.8%	-	-	5.6%
卒業・修了年次 [前年] 11月	0.3%	-	0.3%	-	0.7%	-	-	-	-	-	0.8%
卒業・修了年次 [前年] 12月	3.4%	4.8%	3.1%	5.4%	2.2%	-	5.6%	1.6%	6.3%	6.9%	1.9%
卒業・修了年次 [前年] 1月	3.1%	-	3.8%	5.4%	0.7%	-	5.6%	3.2%	6.3%	6.9%	4.4%
卒業・修了年次 [前年] 2月	4.0%	3.2%	4.2%	2.7%	3.0%	13.6%	5.6%	3.2%	3.1%	3.4%	3.6%
卒業・修了年次 [前年] 3月	10.8%	15.9%	9.7%	5.4%	9.7%	4.5%	5.6%	8.1%	21.9%	27.6%	11.9%
卒業・修了年次4月	6.8%	1.6%	8.0%	2.7%	7.5%	4.5%	8.3%	6.5%	6.3%	10.3%	7.5%
卒業・修了年次5月	4.3%	3.2%	4.5%	-	4.5%	9.1%	2.8%	3.2%	3.1%	10.3%	2.2%
卒業・修了年次6月	6.3%	7.9%	5.9%	-	6.0%	4.5%	16.7%	6.5%	9.4%	-	7.2%
卒業・修了年次7月	6.3%	4.8%	6.6%	-	9.0%	4.5%	5.6%	11.3%	-	-	5.6%
卒業・修了年次8月	2.8%	-	3.5%	2.7%	3.0%	18.2%	-	1.6%	-	-	2.8%
卒業・修了年次9月	3.7%	4.8%	3.5%	2.7%	3.7%	4.5%	2.8%	1.6%	9.4%	3.4%	4.2%
卒業・修了年次10月	5.4%	7.9%	4.8%	10.8%	6.0%	-	-	6.5%	3.1%	6.9%	6.7%
卒業・修了年次11月	1.7%	-	2.1%	2.7%	0.7%	-	2.8%	3.2%	3.1%	-	0.8%
卒業・修了年次12月	1.1%	-	1.4%	-	2.2%	-	2.8%	-	-	-	1.9%
卒業・修了年次1月	0.6%	1.6%	0.3%	2.7%	-	-	-	1.6%	-	-	2.8%
卒業・修了年次2月	0.3%	-	0.3%	-	0.7%	-	-	-	-	-	1.1%
卒業・修了年次3月	6.0%	6.3%	5.9%	8.1%	4.5%	-	16.7%	6.5%	3.1%	3.4%	1.1%
卒業・修了年次 [前年] 3月以前計	54.9%	62.0%	53.3%	67.5%	52.0%	54.4%	41.9%	51.5%	62.6%	65.5%	55.9%

(7) 特定の学生に対する支援

外国人留学生

外国人留学生向けに実施しているプログラムは「外国人留学生向けの日本での就職活動に関するキャリア・就職ガイダンス」が60.1%で1位となった。次いで「エントリーシート添削」が55.7%で、前年比3.9pt増と割合を増やしている。3位は「模擬面接」が46.7%と前年比3.4pt増となっている。新型コロナウイルス感染症の影響が減少し、外国人留学生に対する課題や施策はより注目が集まるかもしれない。

実施しているプログラム(複数回答)	全体 (n=456)	国公立 (n=98)	私立 (n=358)	北海道・東北 (n=53)	関東 (n=167)	甲信越・北陸 (n=31)	東海(n=51)	関西(n=79)	中国・四国 (n=35)	九州・沖縄 (n=40)	参考:前年調査
外国人留学生向けの日本でのキャリア・就職活動に関するガイダンス	60.1%	51.0%	62.6%	34.0%	73.7%	41.9%	49.0%	68.4%	54.3%	55.0%	61.5%
エントリーシート添削	55.7%	43.9%	58.9%	43.4%	59.9%	58.1%	56.9%	50.6%	54.3%	62.5%	51.8%
模擬面接	46.7%	34.7%	50.0%	32.1%	50.9%	51.6%	51.0%	35.4%	45.7%	62.5%	43.3%
専任担当による個別相談	35.7%	27.6%	38.0%	22.6%	38.3%	29.0%	37.3%	41.8%	31.4%	37.5%	33.6%
就職活動マナー講座	28.3%	20.4%	30.4%	22.6%	28.7%	32.3%	27.5%	26.6%	28.6%	35.0%	29.1%
外国人留学生向けの求人を見やすくまとめる	18.0%	12.2%	19.6%	15.1%	20.4%	12.9%	21.6%	10.1%	22.9%	22.5%	18.0%
外国人留学生向けの学内合同企業説明会	15.4%	16.3%	15.1%	9.4%	19.2%	6.5%	7.8%	17.7%	14.3%	20.0%	14.9%
日本語講座	13.8%	12.2%	14.2%	13.2%	14.4%	12.9%	11.8%	11.4%	14.3%	20.0%	12.5%
就職情報サイト登録会	12.1%	6.1%	13.7%	11.3%	11.4%	12.9%	11.8%	6.3%	31.4%	10.0%	12.3%
その他	21.9%	33.7%	18.7%	32.1%	16.8%	22.6%	21.6%	21.5%	34.3%	20.0%	20.3%

その他の回答	エリア	学校区分	内容
	九州・沖縄	公立	留学生の先輩の就活の実体験が聞ける座談会
	中国・四国	国立	通常求人に加え外国人留学生向けの求人を検索できるシステムを運用
	関東	私立	留学生向け情報をまとめたブースの設置

外国人留学生への就職支援に関する課題(自由記述)

エリア	学校区分	内容
関東	私立	日本での就職活動の流れを理解させていくこと(母国との違いなど)
関西	私立	キャリアセンター利用率の向上、日本語レベルの向上
中国・四国	国立	支援担当者確保及び留学生の日本語能力向上支援を行うこと
東海	私立	就職先の職種とビザ切り替え、留学生採用を行っている企業数など
関西	私立	留学生はアルバイト等でなかなかガイダンス等に出席しない。単位化が必要と感じる。
東海	私立	進学を希望しながら、大学院に進めない学生への対応について
関東	私立	受入可能企業の新規開拓と就職活動への意欲の向上
中国・四国	私立	積極採用企業の発掘

日本人留学生

日本人留学生向けに実施しているプログラムは「エントリーシート添削」が48.3%で1位となった。次いで「模擬面接」が46.1%と前年比4.4pt増となった。また「専任担当による個別相談」が27.6%、「日本人留学生向けのキャリア・就職活動に関するガイダンス」が27.0%となった。

実施しているプログラム(複数回答)	全体 (n=319)	国公立 (n=64)	私立 (n=255)	北海道・東北 (n=40)	関東 (n=123)	甲信越・北陸 (n=19)	東海(n=30)	関西(n=51)	中国・四国 (n=28)	九州・沖縄 (n=28)	参考:前年調査
エントリーシート添削	48.3%	46.9%	48.6%	55.0%	43.9%	57.9%	46.7%	43.1%	46.4%	64.3%	47.6%
模擬面接	46.1%	43.8%	46.7%	50.0%	40.7%	52.6%	46.7%	43.1%	42.9%	67.9%	41.7%
専任担当による個別相談	27.6%	21.9%	29.0%	22.5%	29.3%	10.5%	26.7%	33.3%	28.6%	28.6%	29.2%
日本人留学生向けのキャリア・就職活動に関するガイダンス	27.0%	17.2%	29.4%	10.0%	35.0%	10.5%	20.0%	39.2%	28.6%	10.7%	24.3%
就職活動マナー講座	22.3%	25.0%	21.6%	27.5%	17.1%	26.3%	26.7%	17.6%	35.7%	25.0%	22.2%
就職情報サイト登録会	9.4%	9.4%	9.4%	10.0%	6.5%	15.8%	3.3%	7.8%	25.0%	10.7%	6.3%
日本人留学生向けの学内合同企業説明会	6.0%	4.7%	6.3%	5.0%	4.1%	-	3.3%	11.8%	10.7%	7.1%	6.6%
日本人留学生向けの求人を見やすくまとめる	3.4%	3.1%	3.5%	5.0%	3.3%	-	3.3%	7.8%	-	-	2.4%
その他	33.5%	42.2%	31.4%	37.5%	31.7%	42.1%	43.3%	25.5%	35.7%	32.1%	31.9%

その他の回答	エリア	学校区分	内容
	北海道・東北	公立	キャリアコンサルタントによる個別相談、ハローワーク等外部機関の紹介
	関東	私立	人数が少ないため、個別支援をしている
	九州・沖縄	私立	求人票や学外イベントの掲示

日本人留学生への就職支援に関する課題(自由記述)

エリア	学校区分	内容
中国・四国	私立	就活スケジュールと帰国のタイミング
関東	私立	就職活動へ早く取り組ませる方法
関東	私立	留学と就活を切り分けて考える学生が多い。

障がいがある学生

障がいがある学生への特別な就職支援の実施は「実施している」57.3%（前年比2.2pt減）となった。実施プログラムの項目としては「専任担当による個別相談」が55.4%と最多となった。「その他」の回答としては「外部専門機関と連携」「個別支援」という回答が多かった。また、障がいがある学生への就職支援に関する課題（自由記述）では「手帳を持たない学生への支援」「職員の支援スキル向上」といった声が多くみられた。さらに、企業受け入れに関する「特定子会社以外の発達・精神の採用されるケースが難しい」「企業の採用意欲」に関する課題も複数あがっていた。

障がいがある学生への特別な就職支援の実施	全体 (n=583)	国公立 (n=126)	私立 (n=457)	北海道・東北 (n=75)	関東 (n=206)	甲信越・北陸 (n=46)	東海(n=63)	関西(n=97)	中国・四国 (n=50)	九州・沖縄 (n=46)	参考:前年調査
実施している	57.3%	50.0%	59.3%	37.3%	59.2%	58.7%	58.7%	62.9%	58.0%	65.2%	59.5%
実施予定がある	9.3%	4.8%	10.5%	14.7%	10.2%	6.5%	9.5%	4.1%	4.0%	15.2%	10.2%
実施しておらず実施予定もない	33.4%	45.2%	30.2%	48.0%	30.6%	34.8%	31.7%	33.0%	38.0%	19.6%	30.4%

実施しているプログラム（複数回答）	全体 (n=437)	国公立 (n=79)	私立 (n=358)	北海道・東北 (n=45)	関東 (n=158)	甲信越・北陸 (n=29)	東海(n=49)	関西(n=78)	中国・四国 (n=38)	九州・沖縄 (n=40)	参考:前年調査
専任担当による個別相談	55.4%	60.8%	54.2%	51.1%	53.2%	58.6%	63.3%	59.0%	42.1%	62.5%	51.1%
エントリーシート添削	49.4%	39.2%	51.7%	42.2%	49.4%	41.4%	53.1%	51.3%	47.4%	57.5%	49.6%
模擬面接	46.2%	34.2%	48.9%	44.4%	46.2%	41.4%	46.9%	46.2%	42.1%	55.0%	46.5%
キャリア・就職活動に関するガイダンス	36.2%	25.3%	38.5%	15.6%	53.2%	6.9%	26.5%	35.9%	34.2%	27.5%	30.3%
障がいがある学生向け求人の一覧化	20.1%	19.0%	20.4%	13.3%	24.7%	10.3%	20.4%	15.4%	15.8%	30.0%	20.8%
就職活動マナー講座	16.5%	10.1%	17.9%	20.0%	15.2%	13.8%	22.4%	10.3%	26.3%	15.0%	16.9%
学内合同企業説明会	9.8%	10.1%	9.8%	4.4%	11.4%	3.4%	6.1%	9.0%	13.2%	17.5%	7.4%
就職情報サイト登録会	6.6%	2.5%	7.5%	11.1%	6.3%	-	10.2%	3.8%	10.5%	5.0%	7.4%
その他	28.1%	32.9%	27.1%	33.3%	23.4%	37.9%	24.5%	32.1%	31.6%	27.5%	27.9%

その他の回答	エリア	学校区分	内容
	関西	私立	就労移行支援事業所と連携した支援、保護者対象のセミナー開催
	北海道・東北	国立	掲示版に専用スペースを設け、障がい者向けのイベント情報等について掲示
	甲信越・北陸	公立	外部専門機関と連携しての支援
	関東	私立	キャリア支援課スタッフの個別支援
	関西	私立	特定企業への見学

障がいがある学生への就職支援に関する課題（自由記述）

エリア	学校区分	内容
関西	私立	手帳を持たない学生への支援
関東	私立	障がいのある学生が増えているので、個別対応が増えている。また多くの求人を集めることも必要。
関東	私立	企業の採用意欲
中国・四国	私立	関係機関との連携の在り方、保護者との連携の在り方
九州・沖縄	国立	個別対応やどこまで対応するか線引きや目標立て
関東	私立	職員の支援スキル向上
関西	私立	特定子会社以外の発達・精神の採用されるケースが難しい
関東	国立	履歴書等の作成（特に自己PR関係）とエントリー企業の絞り込みが課題である。

(8) 特別支援(高校・保護者)

高校と連携して行っていることを聞いたところ、「高校の授業やプログラム等での教職員による講演」が53.4%と最多となった。次いで「大学での高校生向け公開講座」が29.9%、「高校の進路指導部署との情報交換・レクチャー」28.1%となった。
 また大学入学前教育で取り組まれている内容としては、「外部の教材(e-learning)を送付し自習、レポート等の記入」が17.7%と最多。次いで「スクーリング(対面)」15.6%、「大学オリジナルの教材(e-learning)を送付し自習、レポート等の記入」14.3%となり、多くの大学が入学前にも支援をしている実態がわかった。
 25年卒採用では企業のおヤカク(子供の内定企業から内定確認の連絡)が話題ともなったが、保護者に対して取り組まれている内容としては、「保護者向けガイダンスの実施(対面)」が44.8%と高い実施率となった。次いで「大学ホームページ上で保護者向けの情報提供」38.6%、「三者面談・個人面談」37.7%、「保護者向けパンフレット・資料の配布」31.3%とガイダンス以外の数値も高くなっており、多くの大学が保護者向けの取り組みを積極的に行っていることがわかった。

大学全体で高校と連携して行っていること(複数回答可)

	全体 (n=551)	国公立 (n=116)	私立 (n=435)	北海道・東 北(n=77)	関東 (n=187)	甲信越・北 陸(n=44)	東海(n=62)	関西(n=92)	中国・四国 (n=44)	九州・沖縄 (n=45)
高校の授業やプログラム等での教職員による講演	53.4%	39.7%	57.0%	54.5%	52.4%	52.3%	64.5%	55.4%	36.4%	53.3%
大学での高校生向け公開講座	29.9%	31.0%	29.7%	31.2%	34.8%	18.2%	35.5%	21.7%	25.0%	33.3%
高校の進路指導部署との情報交換・レクチャー	28.1%	28.4%	28.0%	33.8%	29.4%	22.7%	24.2%	30.4%	13.6%	33.3%
個別の相談対応	25.0%	17.2%	27.1%	26.0%	28.3%	9.1%	25.8%	26.1%	22.7%	24.4%
高校の授業やプログラム等での大学生による講演や座談会	14.0%	12.9%	14.3%	13.0%	14.4%	9.1%	12.9%	15.2%	15.9%	15.6%
大学での高校生向け課題解決型・研究プログラム・ワークショップ	13.8%	12.9%	14.0%	9.1%	15.5%	11.4%	16.1%	14.1%	9.1%	17.8%
高校生向けコンテスト	10.5%	5.2%	12.0%	3.9%	14.4%	9.1%	12.9%	7.6%	9.1%	11.1%
高校生の子をもつ保護者向けの講演	9.4%	2.6%	11.3%	7.8%	10.7%	4.5%	8.1%	14.1%	6.8%	6.7%
大学での大学生・高校生合同の課題解決型・研究プログラム・ワークショップ	7.1%	6.0%	7.4%	6.5%	7.5%	6.8%	3.2%	7.6%	11.4%	6.7%
その他	4.7%	7.8%	3.9%	7.8%	4.3%	13.6%	1.6%	2.2%	2.3%	4.4%
今は実施していないが今後取り組む予定があると聞いている	0.7%	1.7%	0.5%	1.3%	1.1%	-	-	-	-	2.2%
今は実施しておらず今後も取り組む予定はないと聞いている	7.8%	10.3%	7.1%	6.5%	7.0%	6.8%	3.2%	13.0%	15.9%	2.2%
わからない	23.2%	31.0%	21.1%	15.6%	27.8%	29.5%	17.7%	19.6%	29.5%	20.0%

入学前教育で取り組まれている内容(予定含む)(複数回答可)

	全体 (n=537)	国公立 (n=111)	私立 (n=426)	北海道・東 北(n=72)	関東 (n=189)	甲信越・北 陸(n=43)	東海(n=58)	関西(n=90)	中国・四国 (n=42)	九州・沖縄 (n=43)
外部の教材(e-learning)を送付し自習、レポート等の記入	17.7%	5.4%	20.9%	18.1%	21.7%	11.6%	20.7%	13.3%	21.4%	7.0%
スクーリング(対面)	15.6%	2.7%	19.0%	8.3%	17.5%	18.6%	19.0%	18.9%	14.3%	7.0%
大学オリジナルの教材(e-learning)を送付し自習、レポート等の記入	14.3%	8.1%	16.0%	20.8%	13.8%	11.6%	15.5%	16.7%	2.4%	14.0%
外部の教材(e-learning)を送付し自習のみ	9.9%	5.4%	11.0%	6.9%	11.6%	11.6%	6.9%	7.8%	4.8%	18.6%
アセスメントテストの実施	6.0%	0.9%	7.3%	1.4%	10.6%	4.7%	3.4%	4.4%	7.1%	-
大学オリジナルの教材(e-learning)を送付し自習のみ	5.0%	2.7%	5.6%	4.2%	7.4%	7.0%	6.9%	1.1%	4.8%	-
スクーリング(WEB)	5.0%	-	6.3%	2.8%	5.3%	7.0%	1.7%	8.9%	7.1%	-
合宿・交流会	4.8%	2.7%	5.4%	2.8%	5.3%	2.3%	1.7%	7.8%	9.5%	2.3%
その他	6.1%	8.1%	5.6%	6.9%	6.3%	11.6%	3.4%	4.4%	4.8%	7.0%
実施していない	11.7%	24.3%	8.5%	13.9%	10.6%	4.7%	15.5%	14.4%	11.9%	9.3%
わからない	38.5%	48.6%	35.9%	33.3%	36.0%	39.5%	32.8%	40.0%	54.8%	46.5%

保護者に対して取り組まれている内容(複数回答可)

	全体 (n=578)	国公立 (n=125)	私立 (n=453)	北海道・東 北(n=77)	関東 (n=199)	甲信越・北 陸(n=46)	東海(n=64)	関西(n=99)	中国・四国 (n=46)	九州・沖縄 (n=47)
保護者向けガイダンスの実施(対面)	44.8%	23.2%	50.8%	33.8%	50.8%	43.5%	40.6%	55.6%	32.6%	34.0%
大学ホームページ上で保護者向けの情報提供	38.6%	28.8%	41.3%	44.2%	37.2%	28.3%	42.2%	46.5%	23.9%	38.3%
三者面談・個人面談	37.7%	12.0%	44.8%	36.4%	34.7%	45.7%	31.3%	40.4%	50.0%	36.2%
保護者向けパンフレット・資料の配布	31.3%	22.4%	33.8%	33.8%	34.7%	32.6%	20.3%	38.4%	19.6%	23.4%
保護者向けガイダンスの実施(WEB・オンデマンド)	19.0%	16.0%	19.9%	16.9%	22.1%	15.2%	23.4%	15.2%	21.7%	12.8%
保護者向けメールマガジン・DMの送付	6.1%	4.0%	6.6%	-	10.1%	8.7%	3.1%	5.1%	4.3%	4.3%
その他	7.1%	10.4%	6.2%	3.9%	7.5%	4.3%	10.9%	6.1%	8.7%	8.5%
実施していない	14.9%	28.8%	11.0%	15.6%	13.6%	17.4%	12.5%	13.1%	28.3%	10.6%

保護者向けガイダンスで実施している内容(複数回答可)

	全体 (n=504)	国公立 (n=100)	私立 (n=404)	北海道・東 北(n=61)	関東 (n=177)	甲信越・北 陸(n=42)	東海(n=57)	関西(n=89)	中国・四国 (n=38)	九州・沖縄 (n=40)
学内の就職支援内容	65.1%	43.0%	70.5%	54.1%	67.8%	64.3%	64.9%	73.0%	52.6%	65.0%
学内の就職実績報告	63.1%	43.0%	68.1%	59.0%	63.8%	66.7%	64.9%	67.4%	50.0%	62.5%
就職活動スケジュール	58.3%	41.0%	62.6%	50.8%	58.8%	54.8%	61.4%	67.4%	47.4%	57.5%
現在の就職環境・過去との違いについて	51.6%	34.0%	55.9%	37.7%	55.4%	42.9%	54.4%	58.4%	44.7%	52.5%
保護者の心構え・役割	47.2%	32.0%	51.0%	34.4%	52.0%	50.0%	47.4%	47.2%	39.5%	50.0%
保護者から子へのアドバイス方法	35.9%	23.0%	39.1%	29.5%	39.0%	38.1%	42.1%	37.1%	15.8%	37.5%
インターンシップ等について	35.3%	20.0%	39.1%	24.6%	39.0%	28.6%	33.3%	44.9%	34.2%	25.0%
低学年からのキャリア支援について	25.6%	16.0%	28.0%	14.8%	29.4%	19.0%	24.6%	30.3%	21.1%	27.5%
卒業生や内定者の就活体験談	20.6%	15.0%	22.0%	11.5%	21.5%	21.4%	15.8%	31.5%	21.1%	12.5%
就職活動にかかる金銭面について	18.5%	15.0%	19.3%	9.8%	19.2%	16.7%	15.8%	21.3%	15.8%	30.0%
具体的な選考内容について	18.3%	12.0%	19.8%	9.8%	18.6%	16.7%	21.1%	22.5%	18.4%	17.5%
企業・人事担当者の考え方・選考基準	14.3%	9.0%	15.6%	4.9%	18.6%	14.3%	14.0%	16.9%	13.2%	5.0%
三省合意の内容について	10.9%	8.0%	11.6%	4.9%	14.1%	16.7%	12.3%	11.2%	5.3%	2.5%
各業界の情報について	8.5%	7.0%	8.9%	4.9%	10.7%	9.5%	10.5%	9.0%	-	7.5%
その他	0.6%	1.0%	0.5%	-	-	2.4%	-	-	2.6%	2.5%
保護者向けガイダンスは実施していない	27.6%	50.0%	22.0%	32.8%	24.9%	26.2%	28.1%	23.6%	44.7%	25.0%

(9)自由記述

学校主催で行うキャリア・就職ガイダンス増減の理由

増えた理由

エリア	学校区分	自由回答部分記載
甲信越・北陸	私立	24年卒キャリアガイダンスは希望申込制で実施していたのに対し、25卒は必須参加と周知したため。
関西	私立	実施回数を増やしたことによる増加。
関東	私立	新型コロナウイルスの収束傾向を受け、学生の求職活動が活発になったため。
関西	私立	学生が興味を持つようにコンテンツを変更した。
中国・四国	私立	4月当初のオリエンテーションで、ガイダンス・セミナーの必要性を強く伝えた。
中国・四国	私立	開催時間を変更した。学生が学校にいる昼休憩の時間の開催とした。
関東	私立	オンラインから対面開催に切り替え、教職協働の実施としたため。
関西	国立	対面開催としたこと。
九州・沖縄	公立	就職活動の早期化やインターンシップの必要性の増大に伴い前期のガイダンス・セミナーへの参加が増加した。夏休み以降は前年並みとなったが、通年では結果として増加した。
関西	私立	ハガキやLINE等の媒体を利用し、告知を高頻度で実施したため。また対面のみでの開催に変更したため。
甲信越・北陸	私立	インターンシップへの興味関心が高い。キャリアガイダンスも夏のインターンシップ事前学習を行っているが参加者は昨年度より増えている。
北海道・東北	国立	大手企業をテーマにしたガイダンスの参加者が増えた。インターンシップのマナー動画の視聴数が増えた。

減った理由

エリア	学校区分	自由回答部分記載
関西	私立	就職ガイダンスに参加しなくても情報を取得する方法が多くあるので参加者が減っているのではないかと考える。
関西	私立	学生数の純減と、学生の就労意欲の低下。
関西	私立	4月のガイダンスのスタートは好調であったが、年度後半にいくにつれ徐々にアーカイブがあるという安心感もあり、参加意欲が薄れていっているように感じる。
九州・沖縄	私立	ガイダンス初回から予約が少なく、就活に対する意識が薄いように感じた。
甲信越・北陸	私立	当初はコロナ禍のオンライン中心の形式から対面式に切り替えた過渡期ゆえの減少と考えていましたが、就職に関しては「売り手市場」であるという認識が広がっているのかもしれない。
関東	私立	あくまで憶測ですが、感染対策関連の規制緩和に伴い、授業課題制作や課題活動に注力する学生が増えたことや、就活について学ぶ機会の多様化が考えられます。
関東	私立	後期の減少については、就職環境の変化(学生有利な環境、採用活動の早期化など)の影響があったと考えている。
東海	私立	オファー系やエージェント等を利用する学生が増えており、大学が主催するガイダンスに興味を示していないと思われる。
甲信越・北陸	私立	学生は得たい情報のみを効率的に入手したいと考えており、ツールも豊富にある。このような状況により、学校主催のガイダンスの必要性を感じない学生が増えていると考えられる。
関東	私立	コロナ明けでアルバイトやサークル活動などをしている学生が増えた。
関西	私立	実践系のイベントを増やしたため抵抗感があるのか参加者が減った。
北海道・東北	公立	支援を必要とせず、学生自身で就活を行える学生が増加したため。

キャリアセンターの負荷増減の理由

増えた理由

エリア	学校区分	自由回答部分記載
関西	私立	教員採用試験の時期が前倒しになったことで、多職種の就活のタイミングが重なり負担が増えた。
東海	私立	職員数が減ったため。
九州・沖縄	公立	新型コロナが5類に移行し、特に低学年の学生が気軽にキャリアセンターに足を運んでくれるようになり、学生対応が増えたため。
関東	私立	イベント、ガイダンス等の対面実施が増えたことで、会場、人員の確保やスケジュール調整を行う必要があるため。
北海道・東北	私立	当センター来訪学生が増えた印象である。
北海道・東北	国立	一人当たりの相談回数が増えています。小さな不安をたくさん抱えている学生が多い印象です。ネットでの様々な情報で混乱してしまうことも一因と考えます。
甲信越・北陸	公立	企業からの問い合わせが増え、対応に時間がとられるため。
関西	私立	自分で考えて行動できる学生層が減り、説明して理解するまで今まで以上に時間を要することが増えた。(自分で考えずに答えをすぐに求める学生が増え、そこから自分で考え発展させることが苦手な学生が増え以前に比べて手間が増えた印象を受けている。)
東海	私立	タイプ思考が加速していると思われる。具体的には、自主的に思考をせずES等の添削を求める学生が増加している。結果として、1人あたりの受験企業数は減少しているにもかかわらず、学生面談件数が上昇している。
関東	私立	セミナーの実施回数を増やした。相談に来る学生数が増えた。
甲信越・北陸	公立	ガイダンス増加、学内業界研究セミナー(対面開催)など。
関東	私立	自己分析及び企業研究が出来ていない学生が増えたから。
関西	私立	保守的な学生が多く、その対応が増加したため。また、キャリア業務以外に教務・会計・奨学金などの業務負担が増えているため。
関東	私立	よりサービス品質を上げることを目標としているため。単純な退職に伴う人員不足。
甲信越・北陸	公立	インターンシップを含めて学生の動きが活発になってきている。また企業の訪問者も増えてきているため。

減った理由

エリア	学校区分	自由回答部分記載
中国・四国	公立	就職支援活動業務のDX化を推進し、業務負担の軽減を図っている。
中国・四国	私立	求人票受理・整理・学生への公開までのシステムを変更し、省力化を図った。
北海道・東北	私立	ガイダンスの見直しを図っているため。
関東	私立	必須面談を前倒しにしたことにより自走できる学生が増えた。学生支援における予約システムを導入したため。
北海道・東北	私立	今年度より補助的ではあるが担当者が増えたため。

低学年学生へのキャリア支援に関する課題

エリア	学校区分	自由回答部分記載
関西	私立	参加率が著しく低い。
北海道・東北	公立	いつ頃から何を始めれば良いのか。
甲信越・北陸	私立	どのようにしたら、早期から意識づけができるのが課題である。
東海	私立	教員と連携し、我々の支援とキャリア教育授業での内容が被らないようにコミュニケーションをとること。
関西	私立	低年次生が参加できるプログラムが少ない。
関東	私立	必修科目が多く、支援(オリエンテーションやモチベーションの維持)にかけられる時間を確保することが難しい。
関東	私立	ガイダンス等機会の提供はしているが、参加者増員の取り組みが不十分であると感じている。
中国・四国	私立	学業との兼ね合い。
甲信越・北陸	公立	必要性は十分理解しているが、全学的になかなか進まない状況。
関東	私立	キャリア形成について考える。職業観の醸成を図るきっかけ作りの場をどのように設定するか？
中国・四国	国立	学生自身及び教員等に主体的なキャリア形成の重要性を認識してもらうこと。
関西	私立	特に2年生へのアプローチを増やす。
関東	私立	裾野の拡大と全体的な底上げ、プログラムの充実。
関東	私立	社会人基礎力の養成。
関東	私立	学生が就活や選考について、より早期のうちに知りたがっているが、その前提知識としてもっと職業観やキャリア形成について目を向けさせる必要があると考えている。

就職活動生への就職支援に関する課題

エリア	学区分	自由回答部分記載
東海	私立	就職活動開始時期の個人差について
関西	私立	自分事に捉えて自分で考えて活動する、個々に合った求人提供
関東	私立	各種キャリア講座やセミナーの学生参加率の向上
甲信越・北陸	公立	一律の就職ガイダンスをすべての学生に適用させるのは難しい
関東	私立	業界研究不足・自己理解不足による「とりあえず大きいところ」という意識
関西	私立	内定を保有しながら就職活動をする等、決め切れない学生が多く見受けられる
関東	私立	卒業研究と就職活動の両立への支援
関東	私立	「就職をしない」選択をする学生に対する支援
東海	国立	苦戦学生・活動量が少ない学生を面接にどのようにつなげるか
関東	私立	動きの遅い学生への支援方法について、学生の効率的な捕捉方法について
関西	私立	低学年次からの意識向上
甲信越・北陸	公立	大学の支援に対する学生の利用率の低下
関東	私立	学内イベントの参加者数が減っていること
関西	私立	読み書きする能力の向上

これからの就職支援についてのご意見

エリア	学区分	自由回答部分記載
関西	私立	学校協定型のインターンシップを実施している大学の事例紹介、低学年からのキャリア教育、自由応募時の企業からの推薦書発行依頼について。
東海	私立	学校推薦扱い求人はほとんどなく自由応募としている。内々定取得者は、積極的に支援を行っていない。
関西	私立	留学生・障がいを持つ学生・発達障害が疑われる学生の支援の難しさを感じています。
関東	私立	三省合意や採用活動の指針(3月広報開始、6月選考開始)が実質遵守されていない。
関東	私立	内定後の学校推薦書の提出について。学生の活動を制限させるものになり、本来の意味での推薦とはかけ離れていると考える。また、オワハラにもつながりかねない。
中国・四国	私立	インターンシップのルール変更により就活のより早期化が懸念されます。
東海	私立	就活ルールは必要なのか。
関東	私立	雇用環境は悪くないにも関わらず、早期化に伴う就職活動期間の長期化により、企業も学生もお互いに出会う接点が減っている。そのことが影響し、就活疲れする企業と学生が増加していることに懸念を感じる。
甲信越・北陸	公立	早期離職を防ぐための、進路・就職支援について。
関東	私立	学生が後悔することなく、自信を持って就活を進めることができるよう、今後もご支援いただきたいと思っております。
関西	私立	留学生の人数が増加するため留学生の就職ガイダンスの充実が必要
関西	私立	意欲の低い学生への対応
関東	私立	内定承諾や内定辞退の実状について、タイムリーな情報を得たい。
関東	私立	今の大学生がどんなことを考えているのか知りたい。早くからキャリアに関して意識を高めるにはどうすればいいか知りたい。
関西	私立	就職活動の波に乗り遅れた学生、活動しているが内定に至らない学生などの未内定学生への支援に苦労しています。